baby lock

オーバーロック／ウェ～ブロック

Instruction Manual

糸取物語

wave

Jet Air motor drive system

― ご使用のてびき ―

このたびはベビーロックをお買い上げいただきまして、
誠にありがとうございます。

●ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。

●保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、
この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

目　次

□ 安全にご使用いただくために …… 1

共通編

1 ご使用になる前に …… 3
2 各部の名称 …… 4
3 縫うための準備 …… 5
アンテナのセット／コントローラーのセット／
糸のセット（ベビーネットの使い方・駒受けの使い方）
4 試し縫い …… 7
縫い始め／縫い終わり／「空環」の始末
5 縫い目調節とメスの固定 …… 9
かがり幅の調節／送り目の調節／
メスの固定／押え圧力の調整／
糸調子微調整ツマミ
6 差動送り …… 11
7 押え金 …… 12
押え金の取り付け・取りはずし方／
バルキー押えの使い方

オーバーロック編

8 4本糸・3本糸・2本糸・巻きロックへの切換え … 14
2本針4本糸ロック／1本針3本糸ロック
／標準巻きロック／変形巻きロック
／1本針2本糸ロック
9 オーバーロックの糸かけ　糸かけ全体図 …… 18
糸かけの前に／糸かけが終わったら …… 19
下ルーパー糸 …… 20
上ルーパー糸 …… 21
針糸 …… 22
太い糸のかけ方 …… 23

ウェ～ブロック編

10 ウェ～ブロックへの切換え …… 25
ウェ～ブロック／
巻きウェ～ブロック
11 ウェ～ブロックの糸かけ
糸かけ全体図 …… 27
糸かけの前に／糸かけが終わったら …… 28
下ルーパー糸 …… 29
上ルーパー糸 …… 30
針糸 …… 31
太い糸のかけ方 …… 32

メンテナンス編

12 メンテナンス …… 34
ルーパースレッダーの使い方
／針の交換／メスの交換／掃除と注油について
13 修理を依頼される前に …… 36

仕　様 ／ MEMO

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。　　FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警　告 ➡ 感電、火災の恐れがあります。

◇一般家庭用の１００Ｖ電源をご使用ください。
◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。

⚠ 注　意 ➡ 感電、火災、ケガの原因となります。

◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。

◆お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し十分に注意を払ってください。

◆以下の場所でのご使用および保管はなさらないでください。
・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所　・高い場所
・お子様の手の届く場所　・湿気の多い押し入れ等の中
※ミシンの使用温度は0℃～４０℃です。

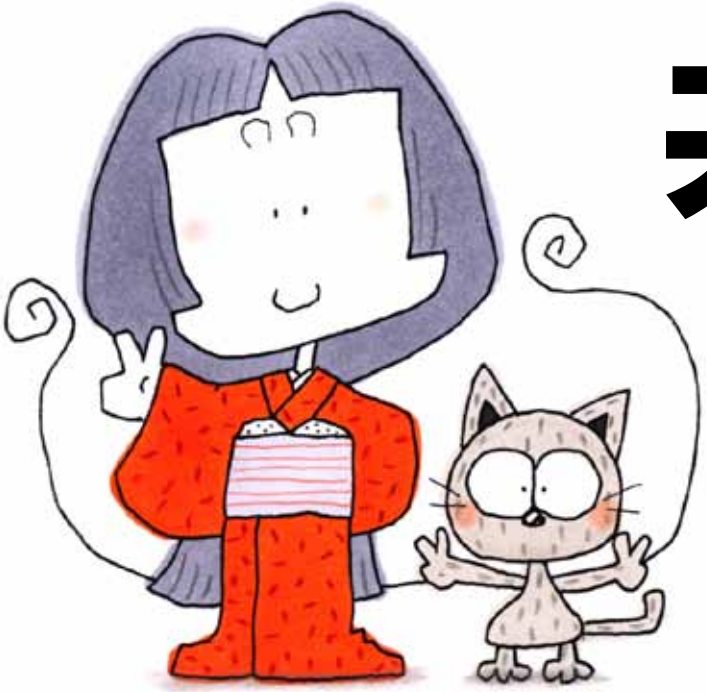
◆ミシンは半年に一回程度、理想的には3ヶ月に一回は動かして下さい。
長期間使用しなかったために不具合が生じた場合は、販売店でのメンテナンスをお勧めします。
◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。

◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
・メスの交換をするとき　・針糸をセットするとき
・針板を交換するとき　・押え金を交換するとき
・針を交換するとき

◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき　・落下などにより破損したとき
・ミシンが濡れたとき　・異常な臭いや音がするとき　・正常に作動しないとき
◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押したりしないでください。
◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
◆操作時は、ミシン本体のカバー類（メスカバー等）はすべて閉じてください。
◆縫製中は自動針糸通しレバーを下げないでください。

オーバーロック／ウェ～ブロック

共通編

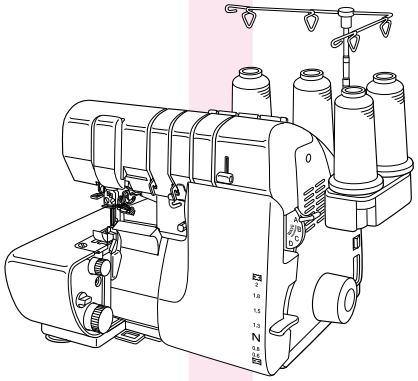


共通編

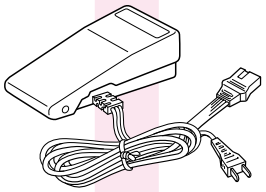
1 ご使用になる前に …… 3
2 各部の名称 …… 4
3 縫うための準備 …… 5
アンテナのセット／コントローラーのセット／
糸のセット（ベビーネットの使い方・駒受けの使い方）
4 試し縫い …… 7
縫い始め／縫い終わり／「空環」の始末
5 縫い目調節とメスの固定 …… 9
かがり幅の調節／送り目の調節／
メスの固定／押え圧力の調整／
糸調子微調整ツマミ
6 差動送り …… 11
7 押え金 …… 12
押え金の取り付け・取りはずし方／
バルキー押えの使い方

1 ご使用になる前に

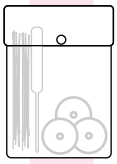
■下記のものが入っていることを必ずご確認ください。



ミシン本体



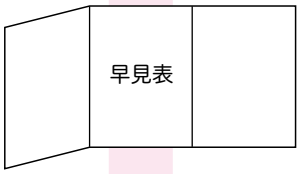
コントローラー



アクセサリーケース

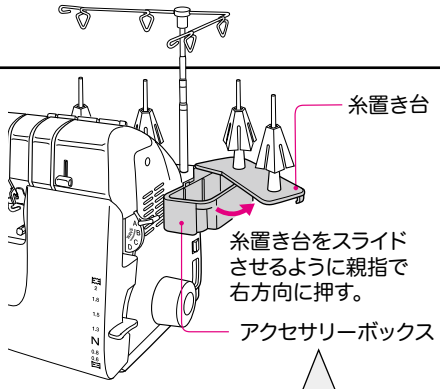
保証書

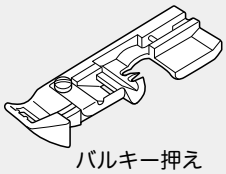
ご使用のてびき



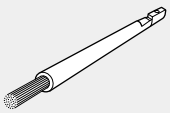
早見表

アクセサリーボックス内

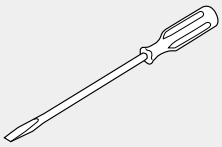




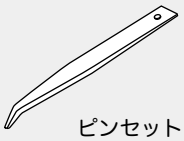
バルキー押え
【P12参照】



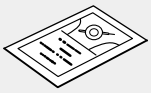
掃除用ブラシ
（針交換用具兼用）



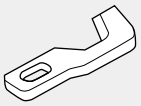
ドライバー



ピンセット



針（HAx1SP#11　#14）
【P34参照】

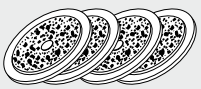


上メス
【P35参照】

アクセサリーケース内

ルーパースレッダー
【P34参照】

駒受け（4個）
【P6参照】



スポンジ付駒受け（4個）
【P6参照】

ベビーネット（4つ）
【P6参照】

ミシンカバー

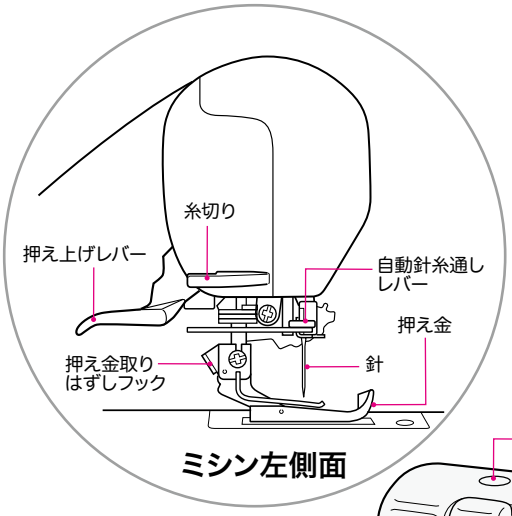
2 各部の名称

～セーフティストップ機構（安全装置）について～

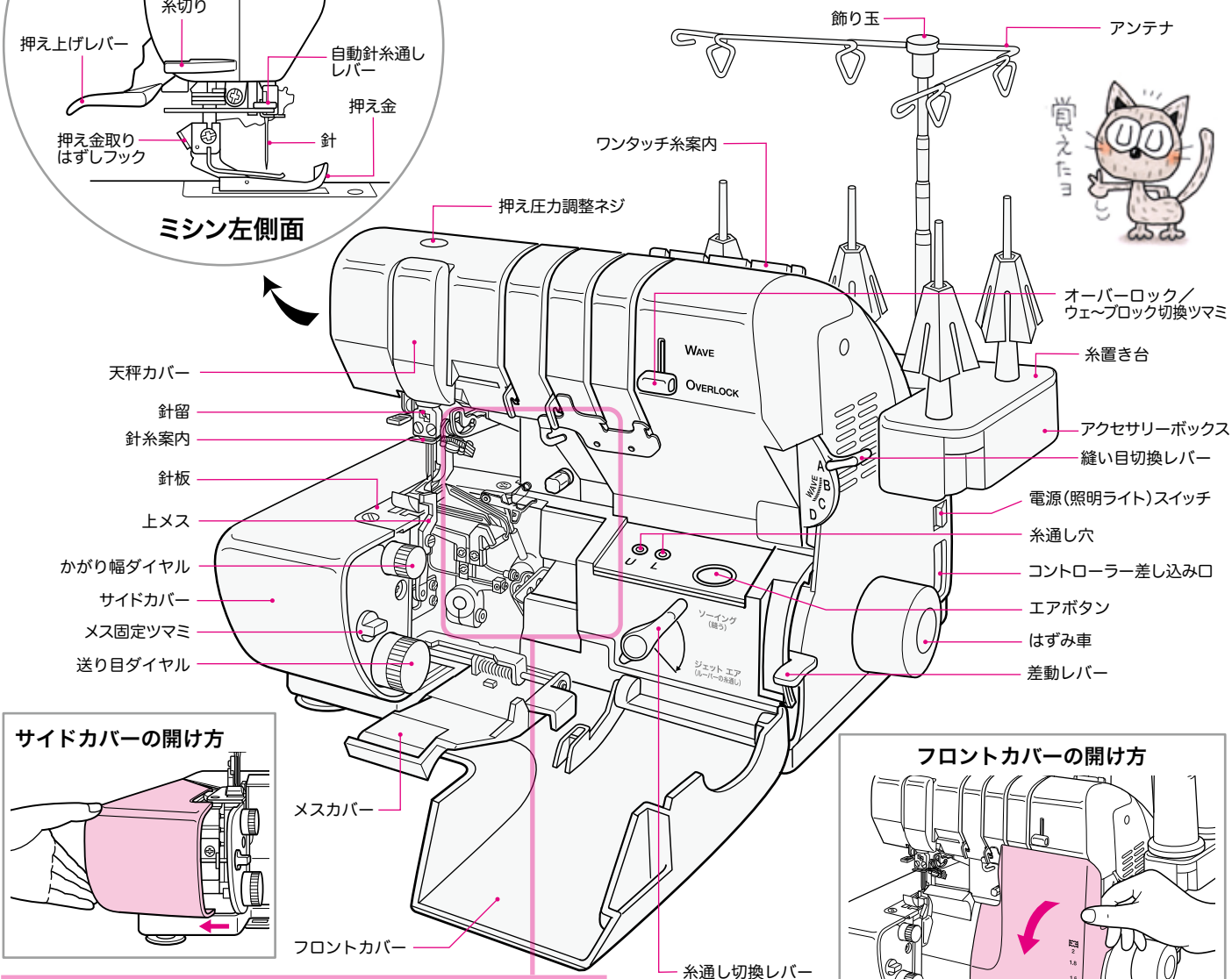
このミシンには、誤作動を防止するために「セーフティストップ機構（安全装置）」が装備されており、以下の時はミシンが動かないようになっています。

◆フロントカバー・サイドカバーが開いているとき　◆押え金が上がっているとき

各カバーを閉め、押え金が下がっていることを確認してからお使いください。

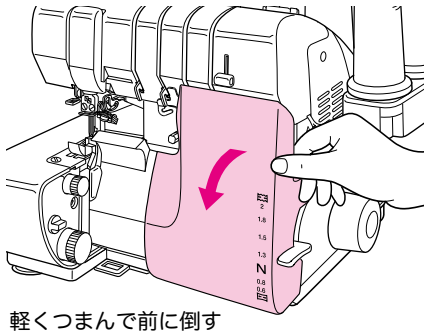


ミシン左側面

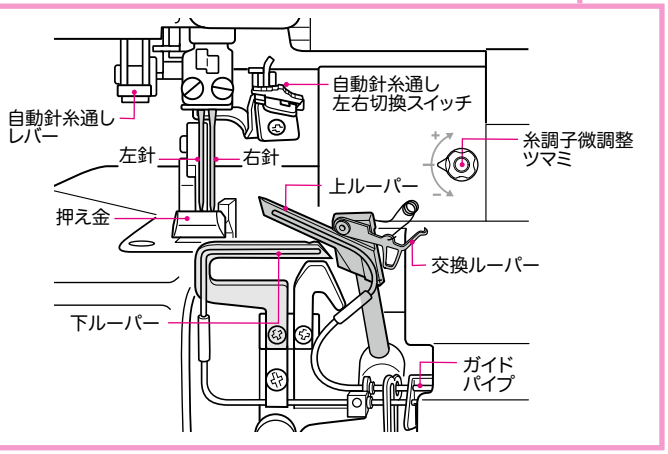


サイドカバーの開け方

フロントカバーの開け方



軽くつまんで前に倒す

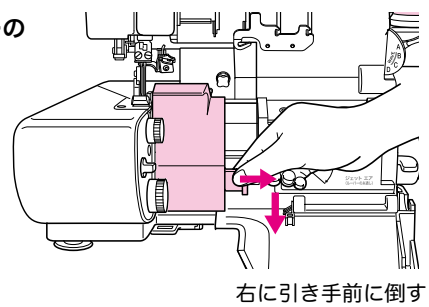


メスカバーの開け方

注意

ケガをする恐れがあります。

縫うときは必ずカバーを閉めてください。



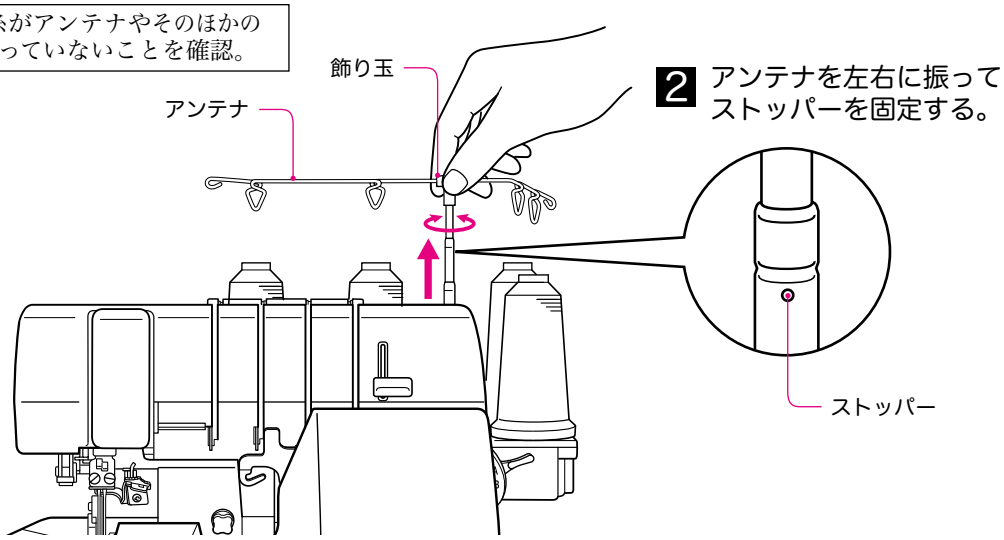
右に引き手前に倒す

3 縫うための準備

アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上に引き伸ばす。
註アンテナは必ず一番上まで引き伸ばしてください。

このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。

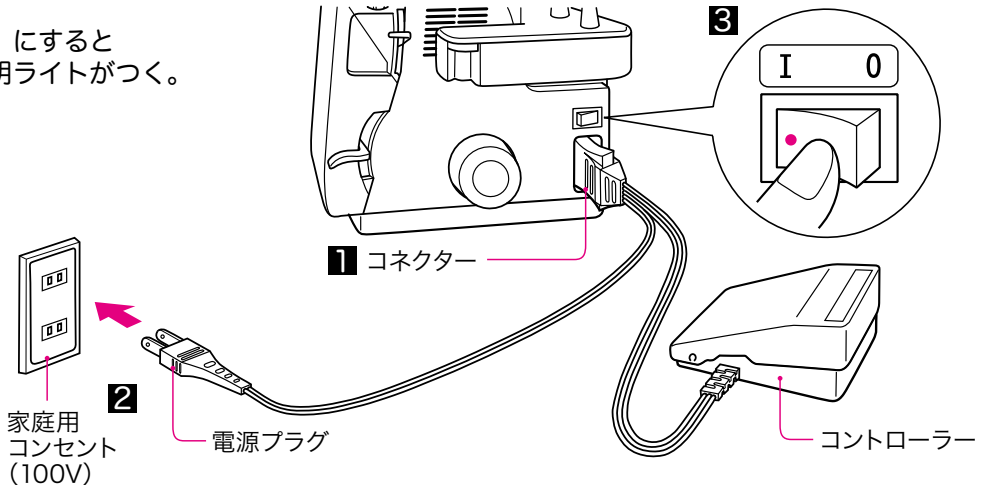


コントローラーのセット

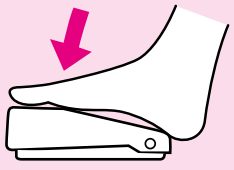
1 コントローラーのコネクターをミシン本体に差し込む。

2 電源プラグを家庭のコンセントに差し込む。

3 電源スイッチを［I］にすると通電状態となり、照明ライトがつく。



スピードの調節



ミシンの縫い速度はコントローラーを強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

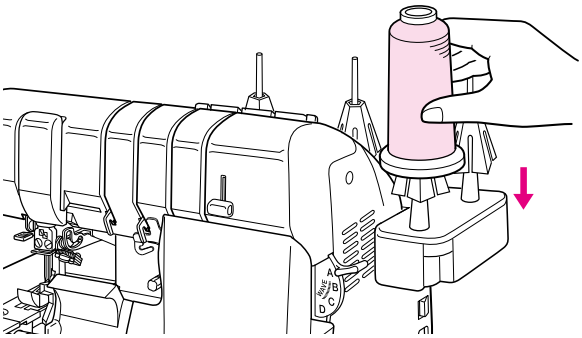
注意 火事の原因になります。

- ◆プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
- ◆コントローラーの上に物を乗せない。
- ◆電源コードを抜くときは電源スイッチを切ってからプラグを持って抜く。コードを引っ張らない。

糸のセット

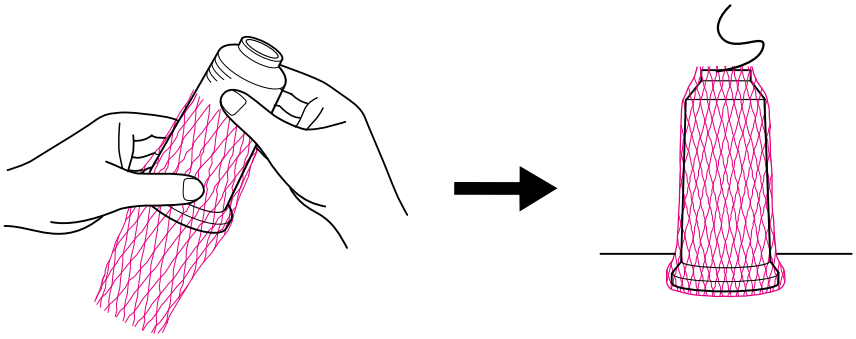
テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているほとんどの糸を使用することができます。
ウェ～ブロックで縫う場合は、上・下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。



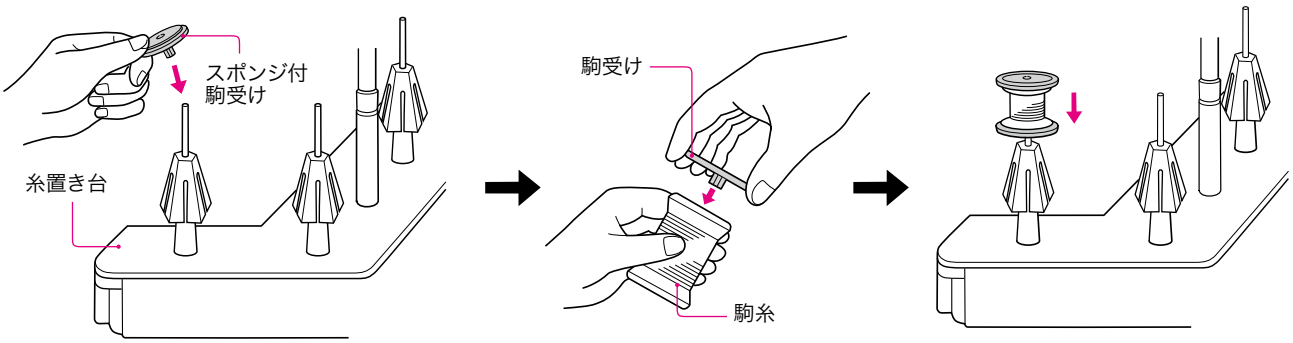
■ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



■駒受けの使い方

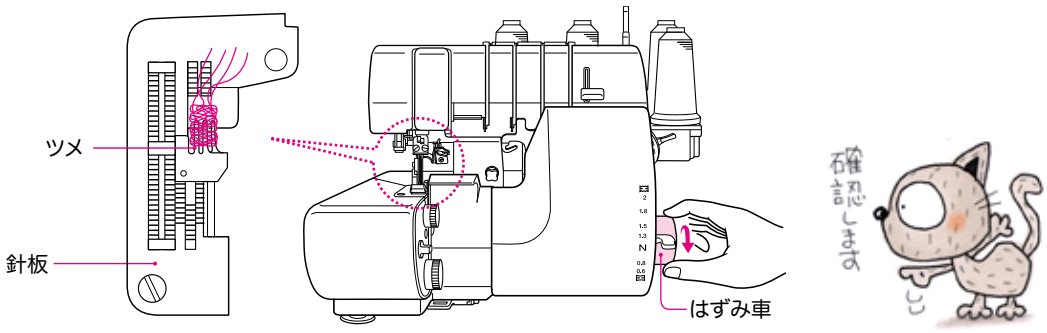
普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」と「スポンジ付駒受け」をご使用ください。



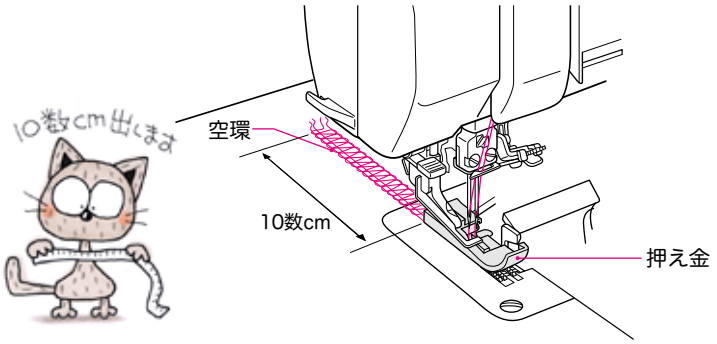
4 試し縫い

縫い始め

1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。



2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環（からかん）」を約10数ｃｍ出しておく。

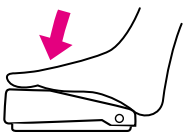


注意

ケガをする恐れがあります。

針・ルーパー・メスの動く範囲に指や手を持っていかないでください。

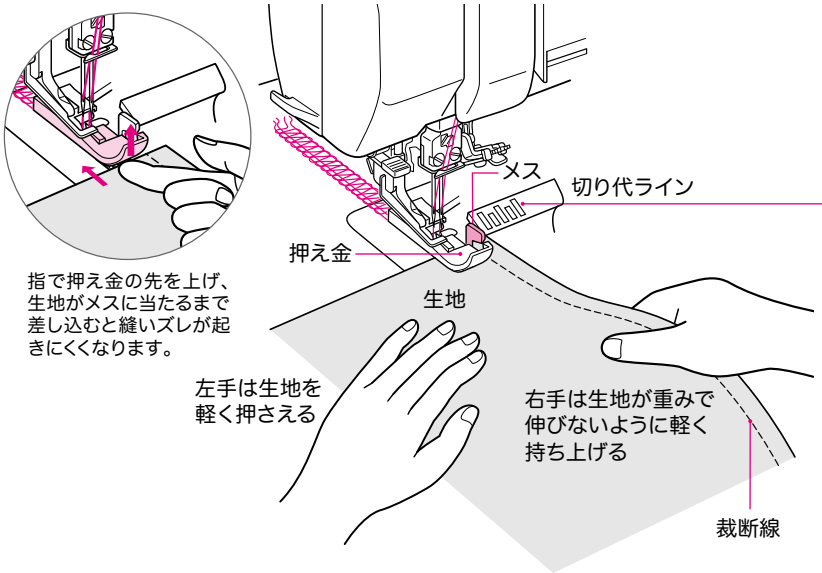
スピードの調節



強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

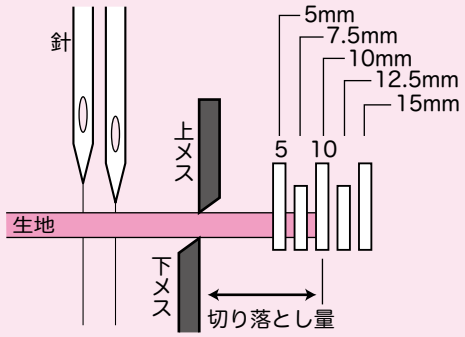
3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。
縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。



切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。
生地端を５の線に合わせると約５ｍｍ切り落とし、１０の線に合わせると約１０ｍｍ切り落とします。



切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合はチャコペン等で生地に裁断線を記入してから縫う事をお勧めします。

ワンポイント

まち針が刺さったまま気づかず縫い進めてメスに触れるとメスの切れ味が悪くなったり、まち針が折れて危険です。
布の仮止めにはソーイングクリップをお勧めします。

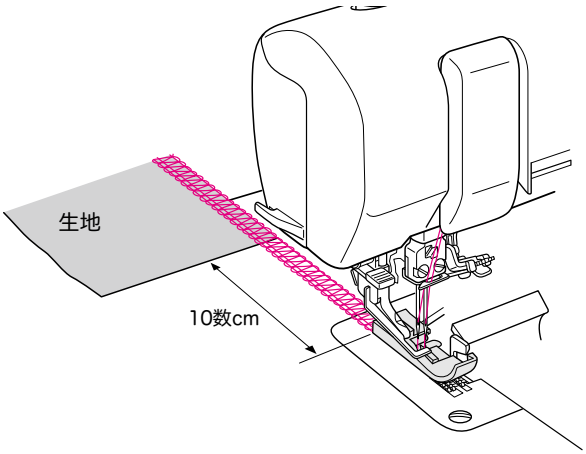
生地によっては、バイヤスやカーブを縫うときに生地がはずれやすい場合があります。そのようなときは以下のことを試してください。

①メスから針落ち位置の間で生地が直線になるように手で補助します。
②かがり幅を広くします。

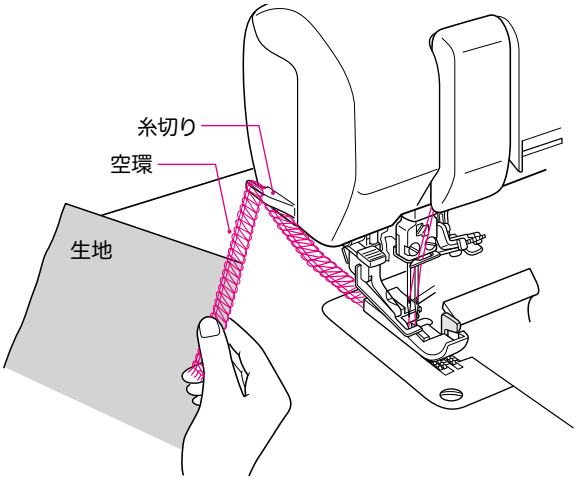
4 コントローラーを踏んで縫い始める。

縫い終わり

1 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環（からかん）」を約10数ｃｍ出しておく。

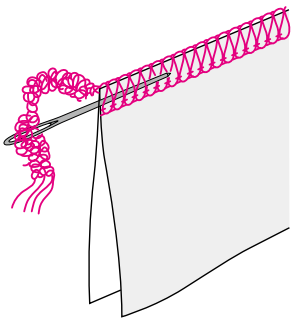


2 最後に「糸切り」で「空環」を切る。

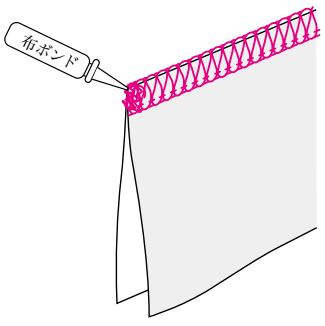


「空環（からかん）」の始末

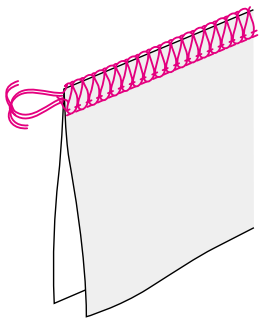
縫い終わった後の「空環」の始末には次のような方法があります。



●とじ針で裏の縫い目に通しておきます。

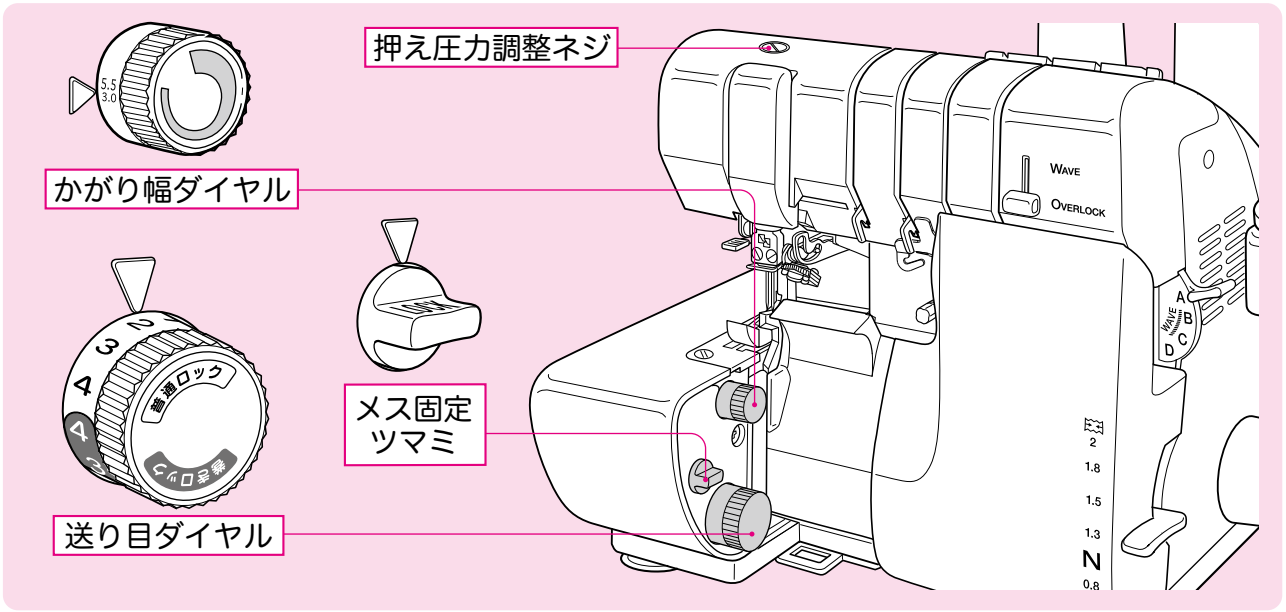


●「空環」を布端で切って布ボンドで固めます。

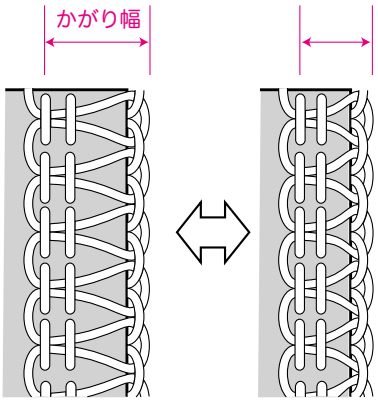


●「空環」の糸をほぐして結びます。

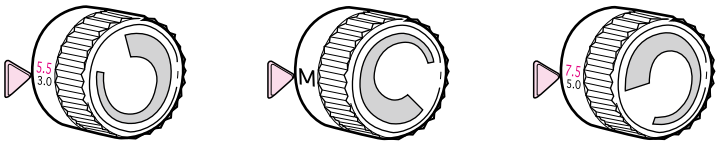
5 縫い目調節とメスの固定



かがり幅の調節

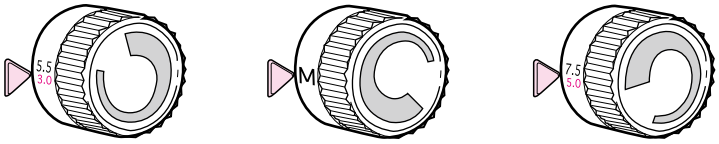


4本糸および左針を使用した時の3本糸・2本糸
（上段の大きい数値で合わせます）



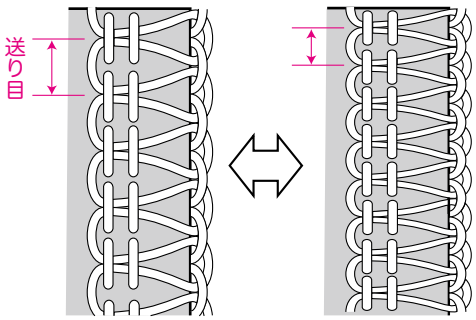
5.5mm幅　6.0mm幅　7.5mm幅

右針を使用した時の3本糸・2本糸
（下段の小さい数値で合わせます）

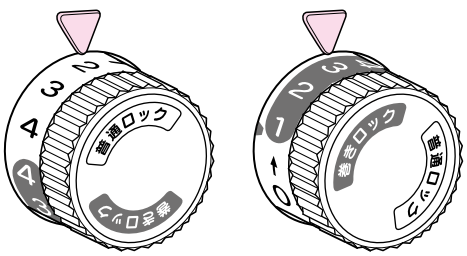


3.0mm幅　3.5mm幅　5.0mm幅

送り目の調節



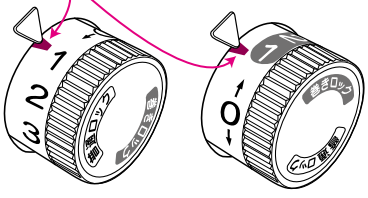
「送り目ダイヤル」を回して、普通ロック・巻きロックともに0.75 ～ 4 mmの範囲で調節できます。



普通ロック側　巻きロック側

ワンポイント

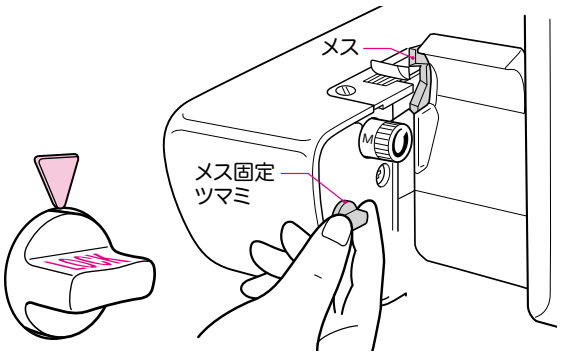
この▌位置は0.75mmを示します。



普通ロック　巻きロック

メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メス固定ツマミを【LOCK】（固定）にしてください。メスが固定されて動かなくなります。

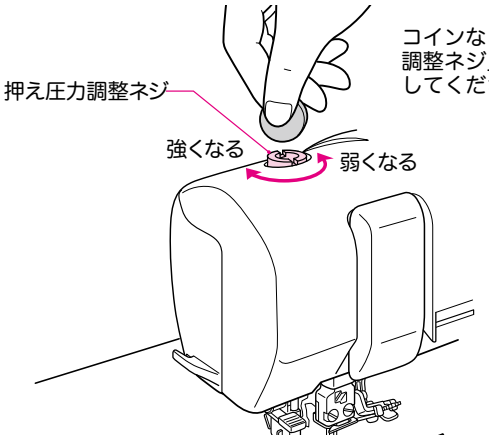


ワンポイント
固定されたメスは、そのまま布ガイドとして使用できます。

押え圧力の調整

滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え金の布を押える圧力を調整したほうが縫いやすい場合があります。

このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合うように調整されていますので普段はあまり調整する必要はありません。

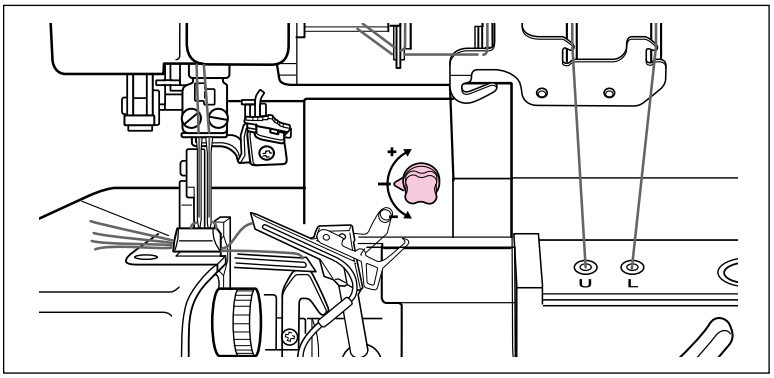


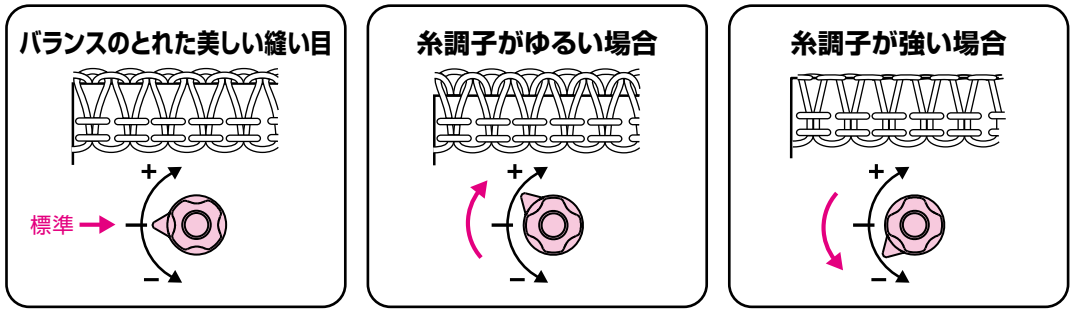
コインなどで「押え圧力調整ネジ」を回して調整してください。

糸調子微調整ツマミ

このミシンは糸調子を自動で調節しますが、生地や糸によっては、糸調子微調整ツマミを回して縫い目を整えた方が良い場合があります。

ワンポイント
特に巻きロックで送り目を0.75に設定した時、糸調子がゆるむ場合があります。(生地や糸にもよります)その場合は糸調子微調整ツマミを「＋」方向に回して、美しい縫い目に調整してください。

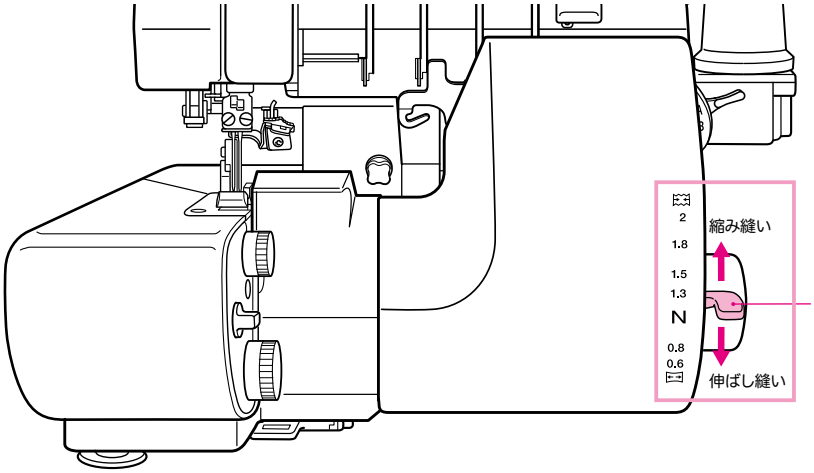


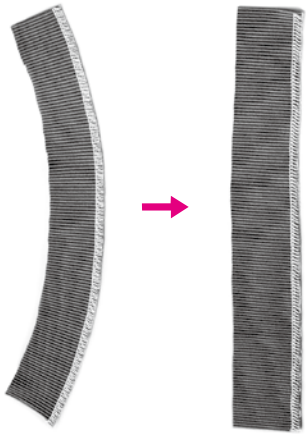


註 縫い目を切り換える場合は標準に戻してください。

6 差動送り

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「差動レバー」を使うと、平にきれいに仕上げることができます。
さらにギャザーを寄せたり、フレアースカートのヘムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



	伸びやすい生地		縮みやすい生地
生地	ニット地、ジャージ、メリヤス、その他バイヤス部分等	織 布	ジョーゼット、サテン、リネン、ローン等
差動レバー	N → 1.3～2	N	N → 0.6～0.8
差動送り使用前後の縫い目比較			

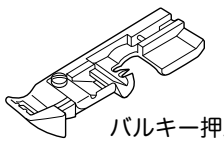
【ギャザーの寄せ方】

ギャザーを寄せながら縫うことができます。

・差動レバーを[2]にします。
※必要に応じて1.3～2の間で調整してください。

・送り目調節ダイヤルを[4]に合わせます。

付属の「バルキー押え」を使用するとさらに縮み量が大きくなります。
(右ページ参照)



7 押え金

注意 ケガをする恐れがあります。 ◀ 押え金を交換する場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

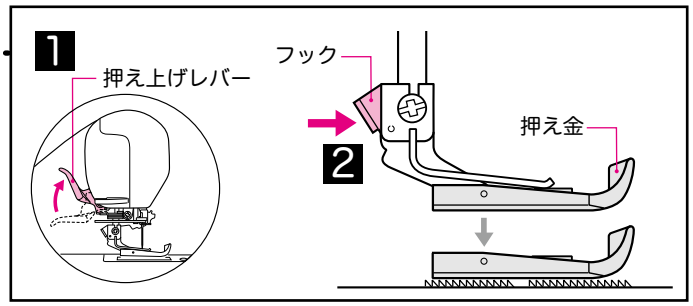
押え金の取り付け・取りはずし方

専用アタッチメント（各種押え金）を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

【取りはずし方】

1 押え上げレバーで押え金を上げる。

2 フックを押すと押え金がはずれる。



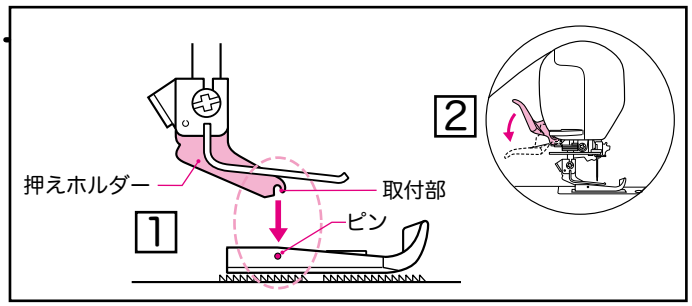
【取り付け方】

1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。

2 押え上げレバーを下げる。

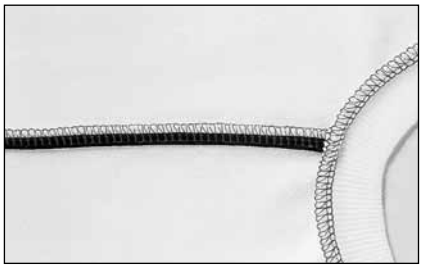
ワンポイント

押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーをさげたままフックを押してください。

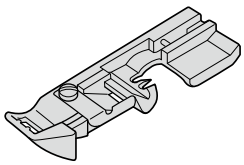


バルキー押えの使い方

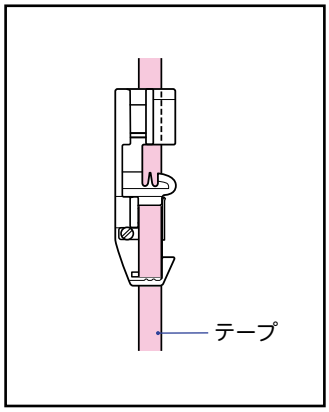
「バルキー押え」は、
●差動送りを使って縮み縫いをするとき、より縮み量を多くしたり、
●右のように、縁かがりと同時に、伸び止めテープ（ウーリースピンテープ）や各種テープを入れることができます。テープの入れ方は下記の通り。



肩部分の合わせ縫いに最適

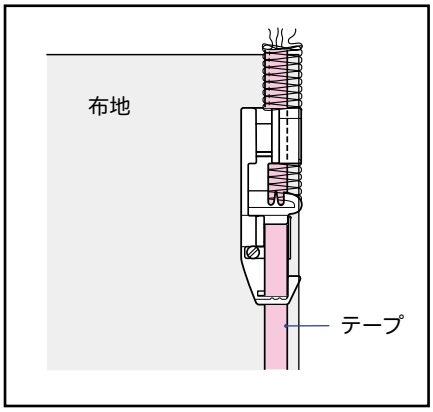


1 バルキー押えにテープを通しておく。

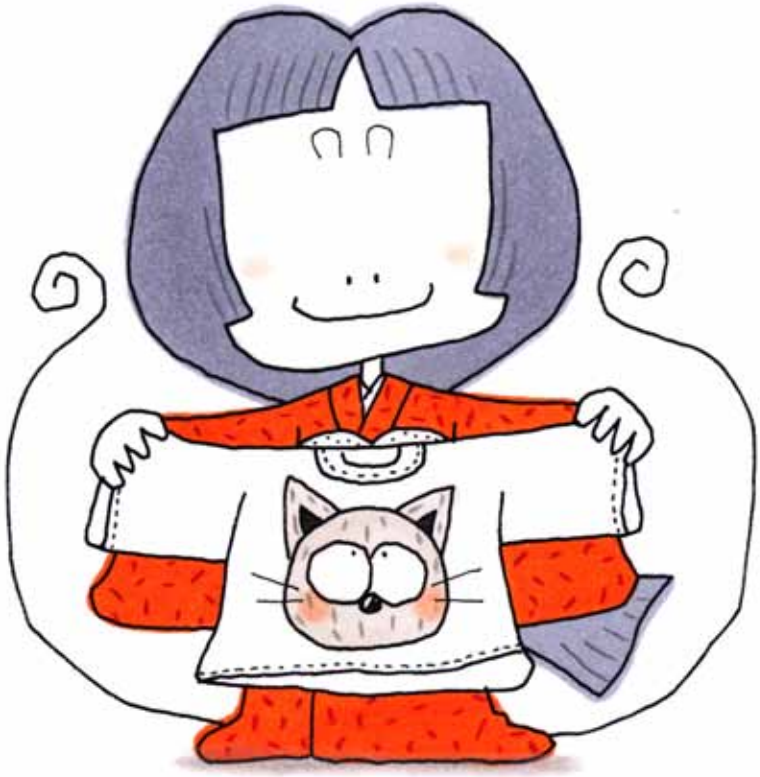


2 針を一番上に上げ、上記の押え金の【取り付け方】を参照にしてバルキー押えを取り付ける。

3 空縫いしてから、布地を入れて縫い始める。



オーバーロック編



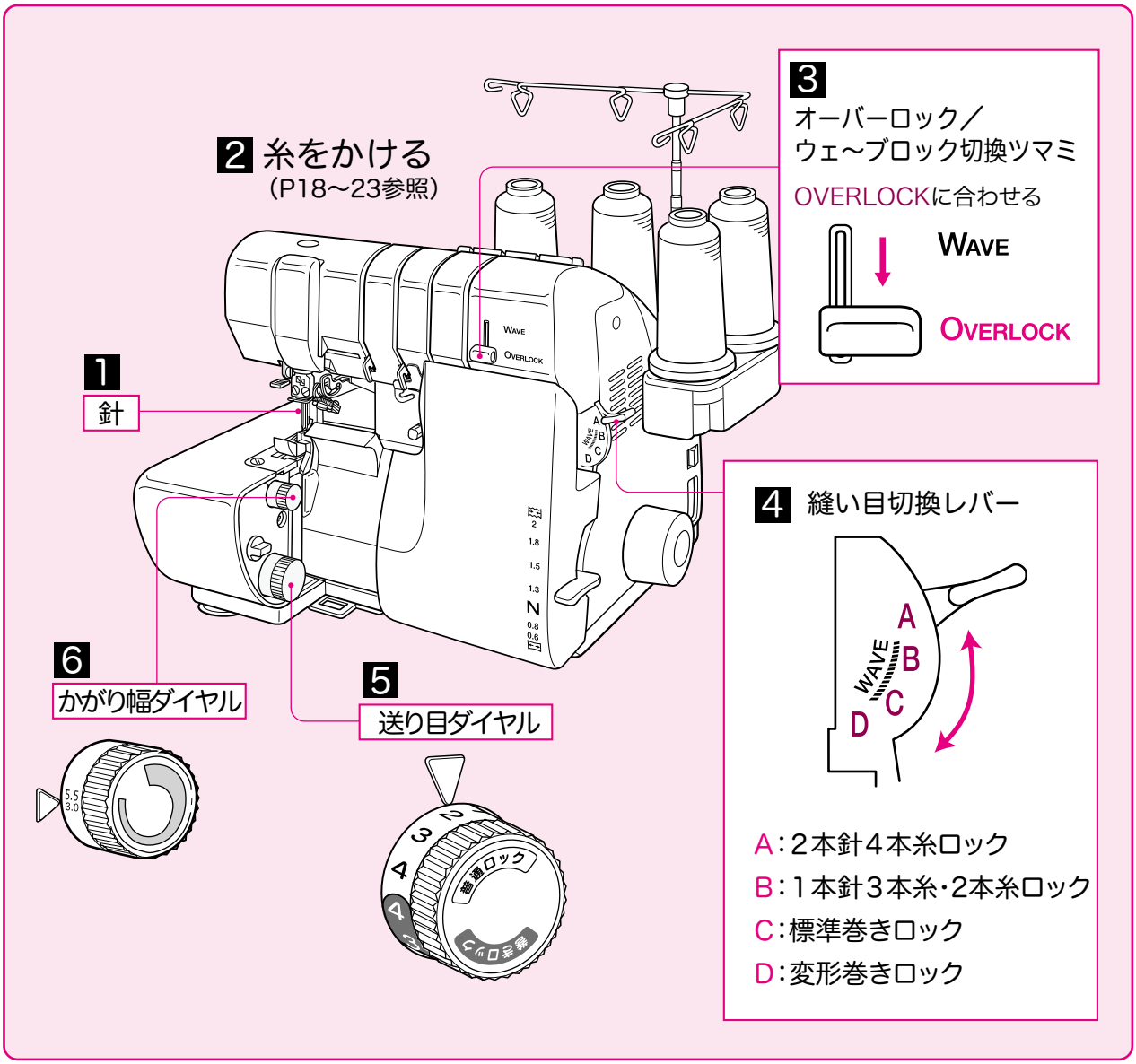
オーバーロック編

8 4本糸・3本糸・2本糸・巻きロックへの切換え‥14
2本針4本糸ロック／1本針3本糸ロック
／標準巻きロック／変形巻きロック
／1本針2本糸ロック

9 オーバーロックの糸かけ　糸かけ全体図 …… 18
糸かけの前に／糸かけが終わったら ……19
下ルーパー糸 ……20
上ルーパー糸 ……21
針糸 ……22
太い糸のかけ方 ……23

8 オーバーロックの４本糸・３本糸・2本糸・巻きロックへの切換え

このミシンは Ａ．２本針４本糸ロック、Ｂ．１本針３本糸ロック、Ｃ．標準巻きロック、Ｄ．変形巻きロックの４種類の基本縫いを、面倒な調節なしで簡単に切り換えることができます。
さらに、特殊な糸かけにすると１本針2本糸ロックも縫えるようになります。



ワンポイント

縫い目がきれいにできない場合は溝の間にある2枚の糸調子皿から糸がはずれていることがあります。
この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えていますが、ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。
押え上げレバーを上げ、この皿を開いてから、もう一度溝に糸を入れ直してください。
入れ直した後は必ず押え上げレバーを下げます。

溝の間に2枚の
糸調子皿があります

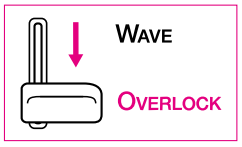
普通ロック

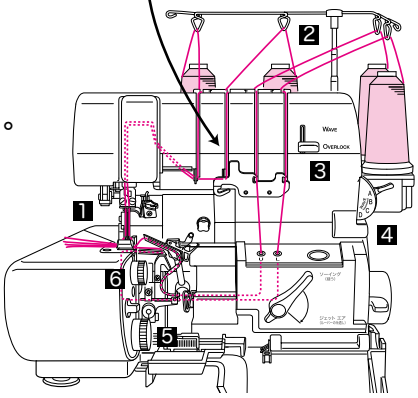
2本針4本糸ロック

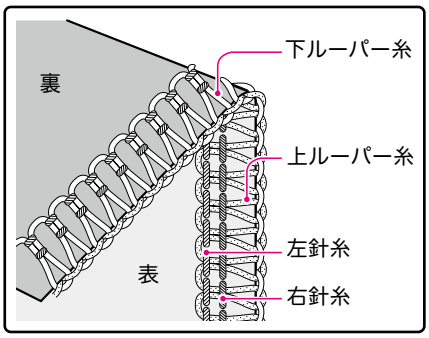
1 2本針にする。

2 4本とも糸をかける（P18〜22参照）。

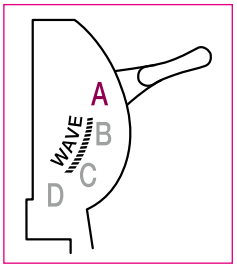
3 「オーバー／ウェ〜ブ切換ツマミ」を
OVERLOCKに合わせる。



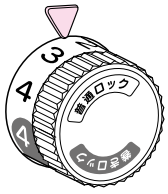




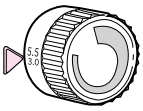
4 「縫い目切換レバー」
をAに合わせる。



5 「送り目ダイヤル」を
【普通ロック】の数字
0.75〜4に合わせる。
（生地の種類や好みによって）



6 「かがり幅ダイヤル」を
合わせる。
【上段の数字で合わせる】
（生地の種類や好みによって）



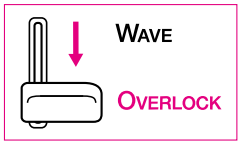
1本針3本糸ロック

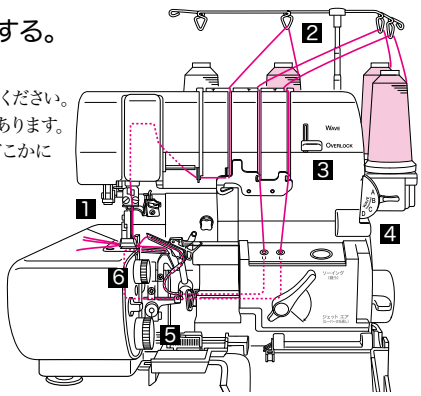
1 右針または左針をはずして1本針にする。
【通常は右針を使用する】

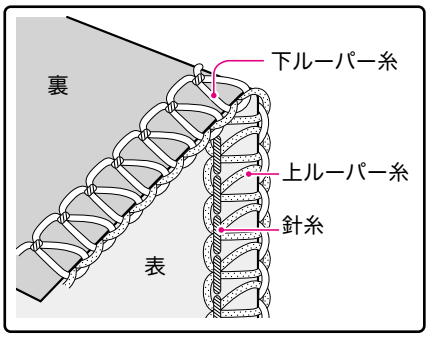
註 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。
ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。
また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに
引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

2 3本の糸をかける（P18〜22参照）。

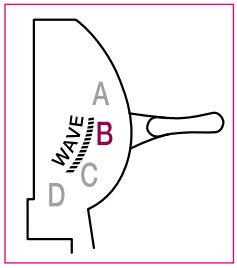
3 「オーバー／ウェ〜ブ切換ツマミ」を
OVERLOCKに合わせる。



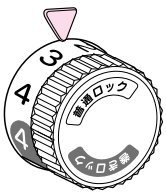




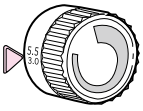
4 「縫い目切換レバー」
をBに合わせる。
※左針を使用する場合は
Aに合わせる。



5 「送り目ダイヤル」を
【普通ロック】の数字
0.75〜4に合わせる。
（生地の種類や好みによって）



6 「かがり幅ダイヤル」を
合わせる。
【右針使用の場合は下段の数字で合わせる】
【左針使用の場合は上段の数字で合わせる】
（生地の種類や好みによって）



巻きロック

このミシンは、布端をひと折りしながら細くかがっていく【巻きロック】で縫うことができます。巻きロックには、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」があります。オーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。

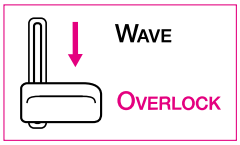
標準巻きロック

1 左針をはずして1本針にする。

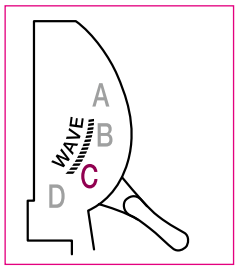
註 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

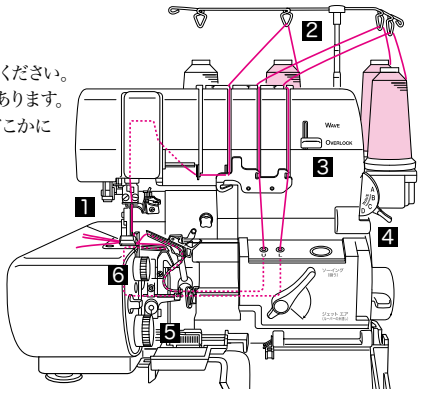
2 3本の糸をかける(P18〜22参照)。

3 「オーバー／ウェ〜ブ切換ツマミ」をOVERLOCKに合わせる。



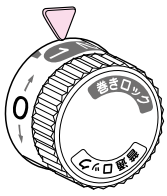
4 「縫い目切換レバー」をCに合わせる。

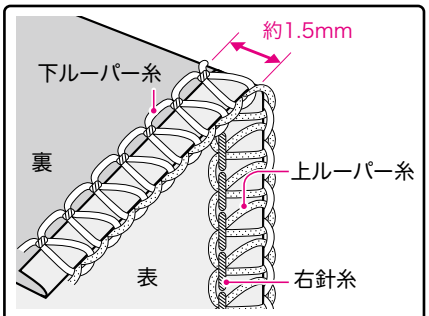




5 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字0.75〜4に合わせる。

(生地の種類や好みによって)

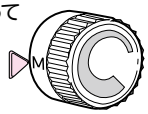




布端をひと折りしながら、細くかがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに仕上げることができます。

6 「かがり幅ダイヤル」をMに合わせる。

【Mは標準値です。
生地の種類や好みによって
調節してください】



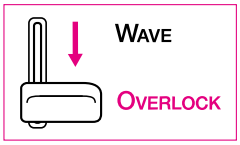
変形巻きロック

1 左針をはずして1本針にする。

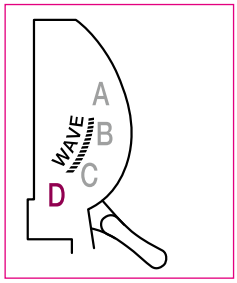
註 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

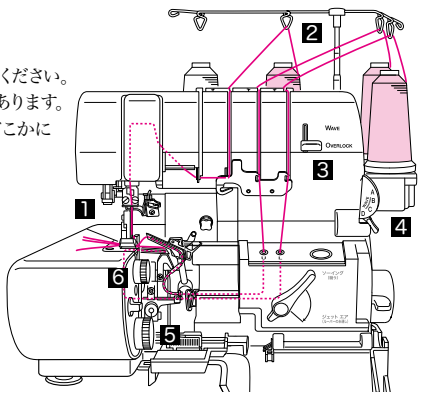
2 3本の糸をかける(P18〜22参照)。

3 「オーバー／ウェ〜ブ切換ツマミ」をOVERLOCKに合わせる。



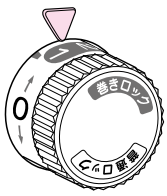
4 「縫い目切換レバー」をDに合わせる。

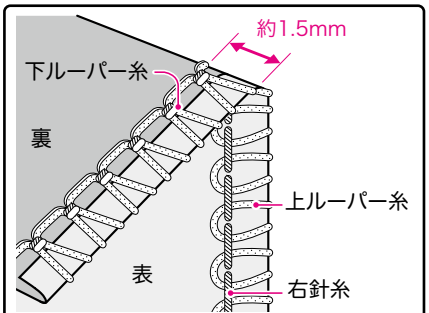




5 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字0.75〜4に合わせる。

(生地の種類や好みによって)



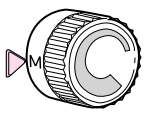


上ルーパー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかがります。既製品に多く使われている縫い目です。薄物の縁かがりやハンカチ、コサージュやフリルにも。

ワンポイントアドバイス【推奨する糸】
針糸・下ルーパー糸：スパン糸#90
上ルーパー糸：ウーリー糸

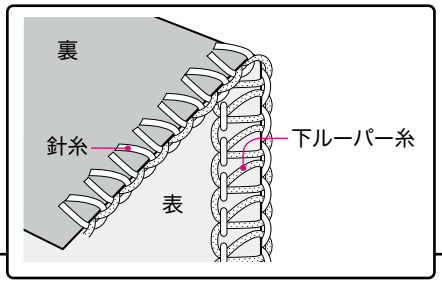
6 「かがり幅ダイヤル」をMに合わせる。

【Mは標準値です。
生地の種類や好みによって 調節してください】



普通ロック

このミシンは１本針２本糸ロックでも縫うことができます。
飾りステッチなどはこの２本糸で縫います。



１本針２本糸ロック

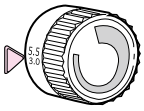
右針と下ルーパー糸の２本で縫います。

左針をはずして一本針にする。

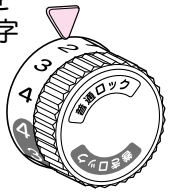
註 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。
また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

「かがり幅ダイヤル」を合わせる。

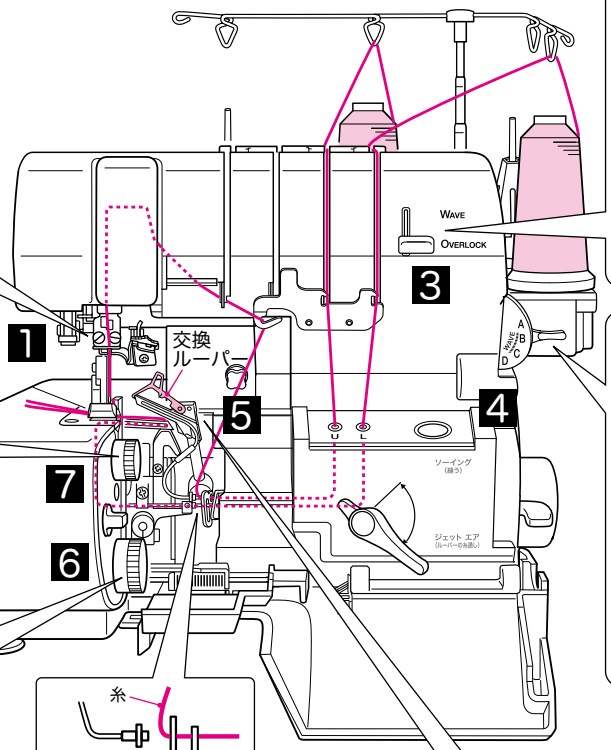
【下段の数字で合わせる】
（生地の種類や好みによって）

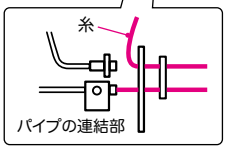


「送り目ダイヤル」を【普通ロック】の数字0.75～4に合わせる。
（生地の種類や好みによって）

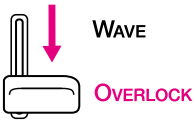


2 2本の糸をかける（P18～22参照）。
※針糸は上ルーパー糸のエアスルーを使ってパイプの途中まで糸を通しておいてから「はずみ車の固定」を解除して、パイプの連結部より引き上げる。

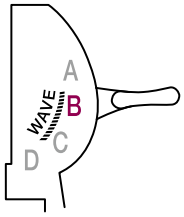




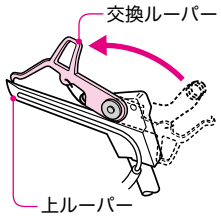
「オーバー／ウェ～ブ切換ツマミ」を OVERLOCK に合わせる。



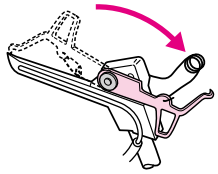
「縫い目切換レバー」を B に合わせる。



交換ルーパーを上ルーパーの先端の穴に入れます。 重要



2本糸から4・3本糸・巻きロックに切り換える場合は、必ず交換ルーパーを元の位置に戻してください。 重要



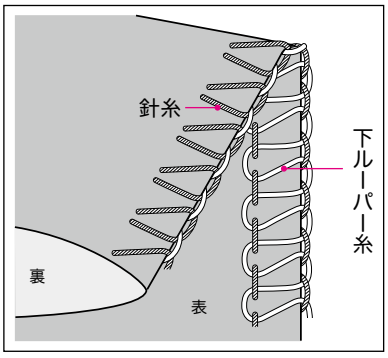
ワンポイントアドバイス
2本糸で飾りステッチなどを縫う場合は、下ルーパー糸に太い糸や飾り糸を使うと効果的です。

２本糸ロックはほとんどの場合は、飾り縫いで使われます。

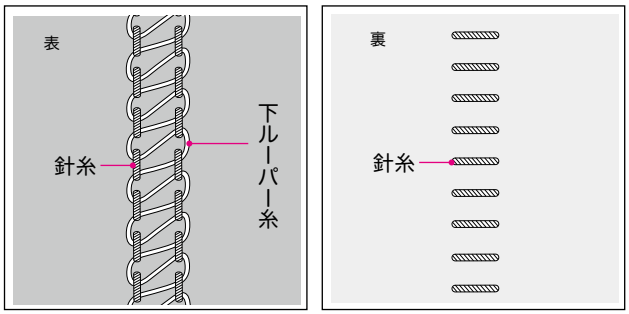
『代表的な使われ方』

1 メス固定ツマミを「固定」側にする。

2 生地を二つ折りにして、その折り山の端を縫っていく。このとき、固定したメスをガイドにすると縫いやすい。



3 縫い終わったら、生地を広げる。

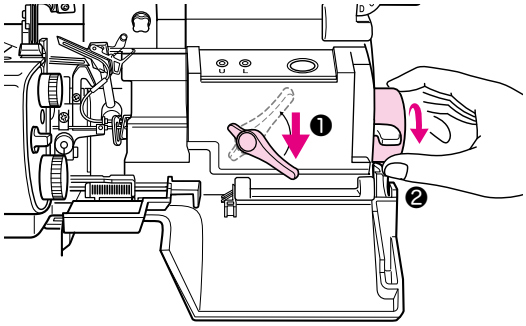


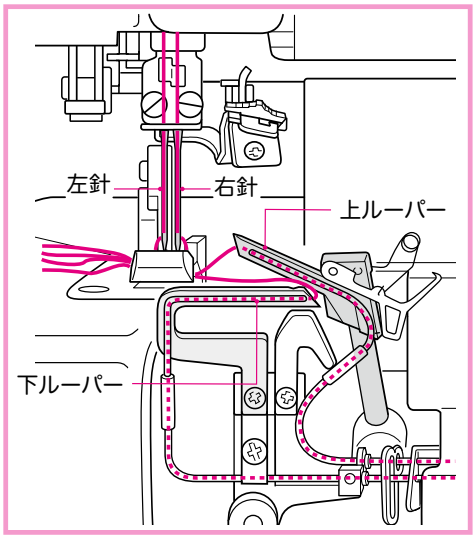
9 オーバーロックの糸かけ

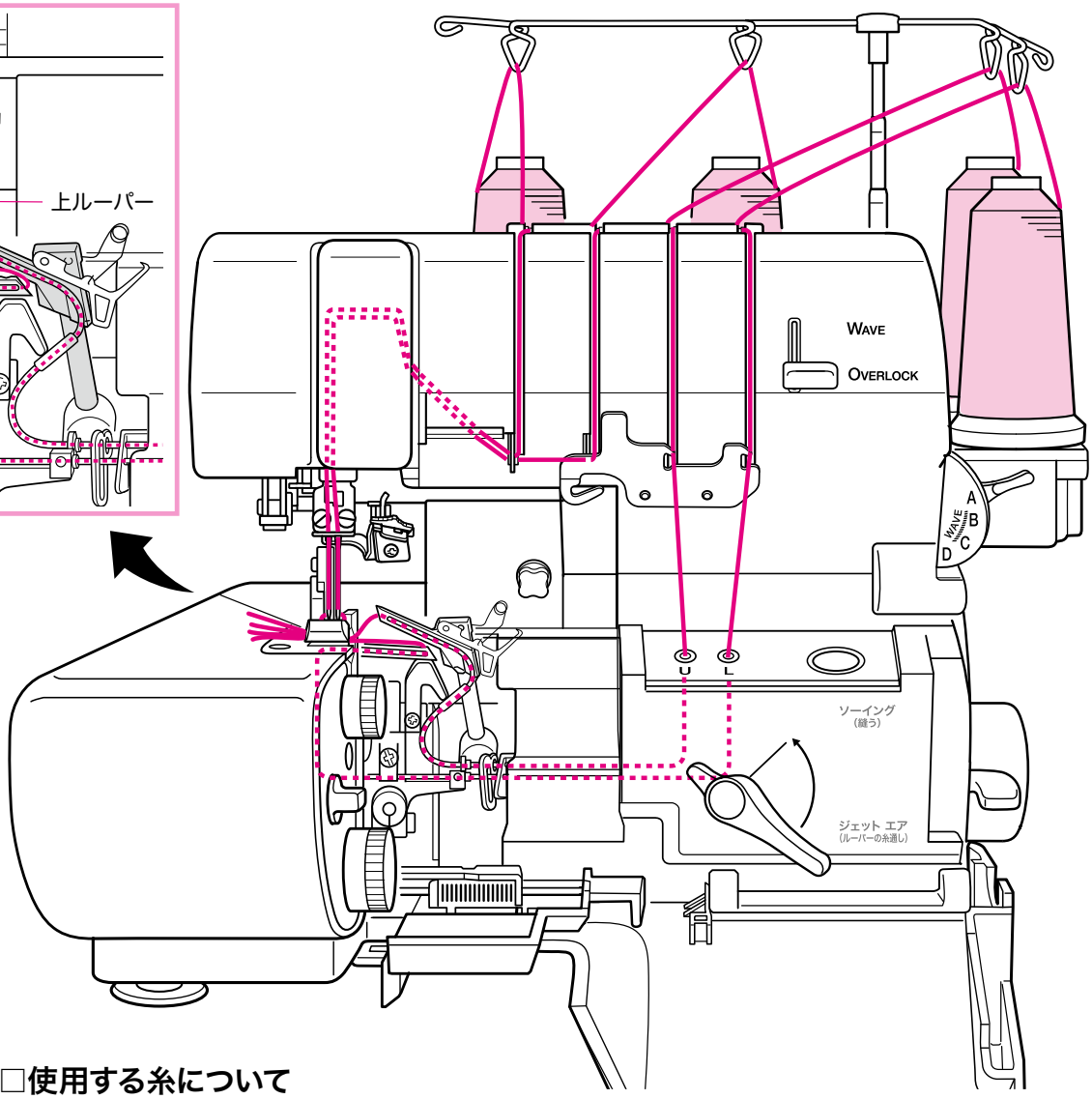
糸かけ全体図

どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。

糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P19参照）







□使用する糸について

ルーパー糸には、テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、金糸、極細毛糸など、糸道のパイプに無理なく入る糸であれば、市販されているほとんどの糸を使用することができます。
針糸には、通常スパン糸が使用されます。
また普通ミシンと違い、伸縮性のあるニット地等を縫う場合でも、水着やレオタードなどの特別な場合を除き、レジロン等の伸縮性のある糸を使う必要はありません。

※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。

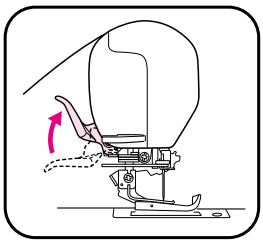
ルーパーの糸かけをするときはジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）を使います。
ジェットエアスルーは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。
ラクスルー（自動針糸通し）を使うときも同様に「はずみ車の固定」を行ってください。

また、糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

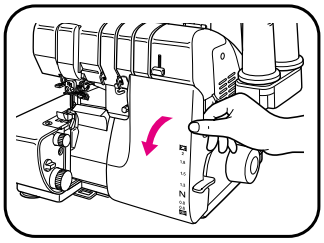
糸かけの前に

はずみ車の固定

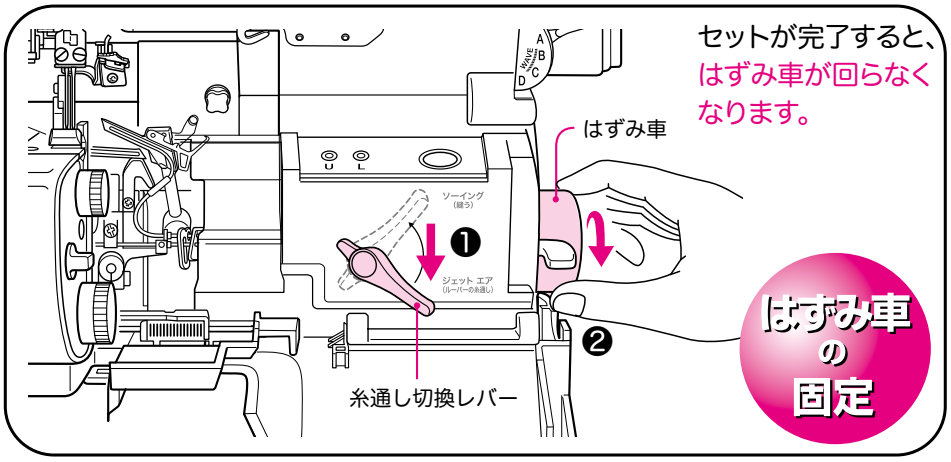
1 押え上げレバーで押え金を上げる。



2 フロントカバーとメスカバーを開ける。



3 糸通し切換えレバーを「ジェットエア」側へ下げ、カチッと音がするまではずみ車を回す。

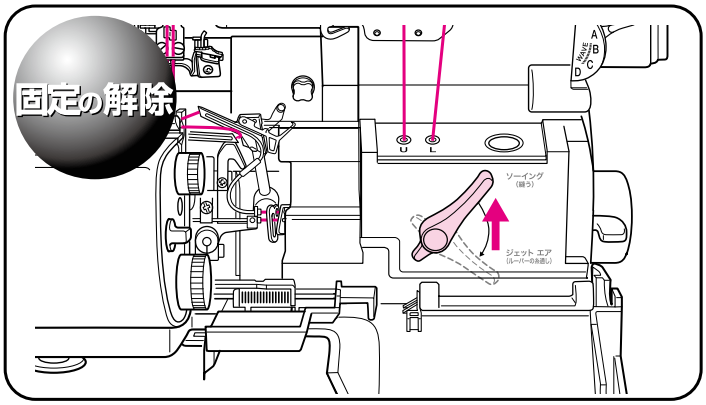


セットが完了すると、はずみ車が回らなくなります。

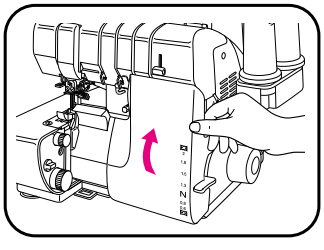
P20～P22にしたがって糸をかける

糸かけが終わったら

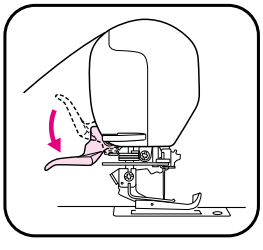
1 糸をかけ終わったら、必ず糸通し切換レバーを「ソーイング」側へ上げる。



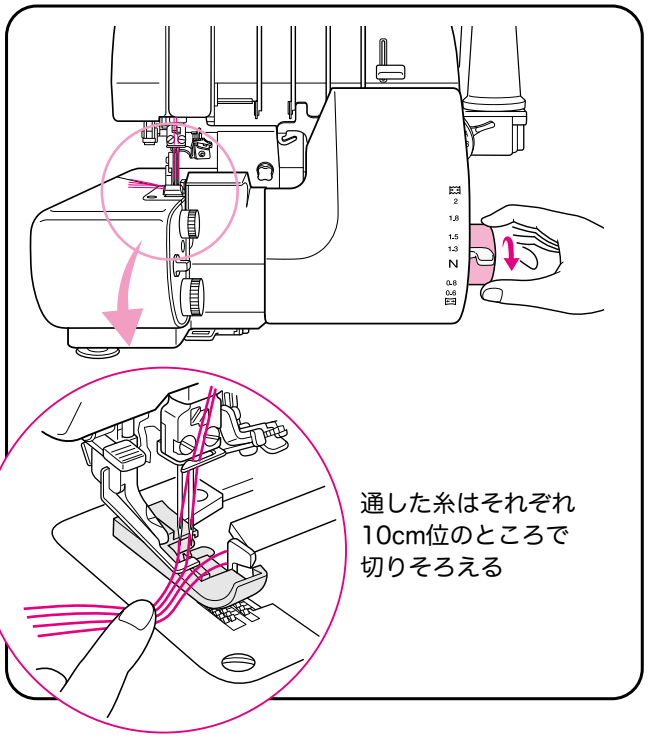
2 メスカバー、フロントカバーを閉める。



3 押え上げレバーで押え金を下げる。



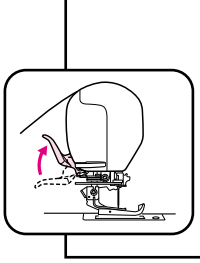
4 最後に4本の糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



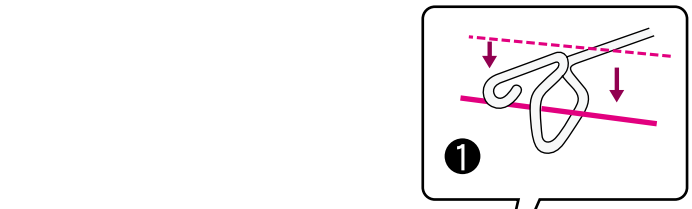
通した糸はそれぞれ10cm位のところで切りそろえる

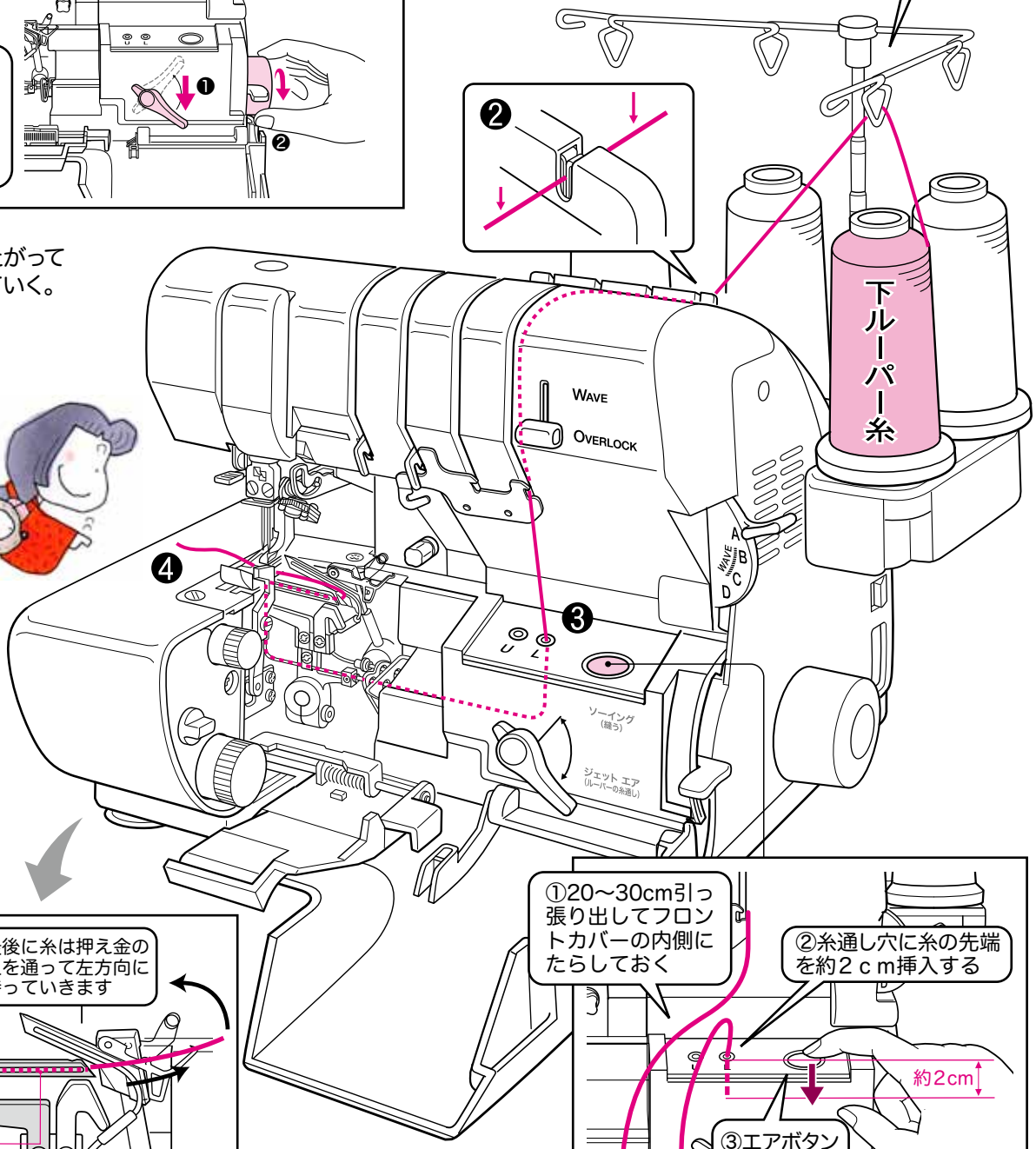
下ルーパー糸

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P19参照） 重要



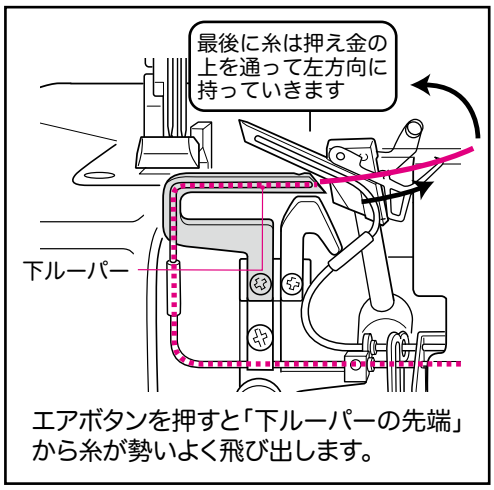
2 番号にしたがって糸をかけていく。



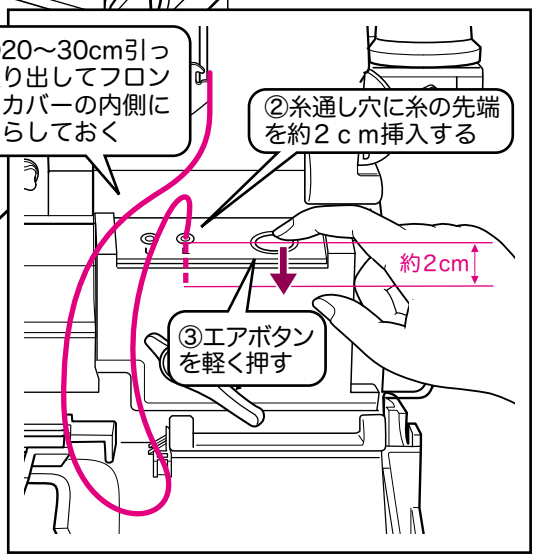


ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。



エアボタンを押すと「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。

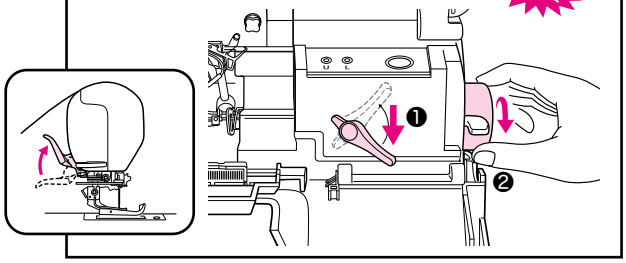


3 「固定の解除」（P19）をしてから縫い始める 重要

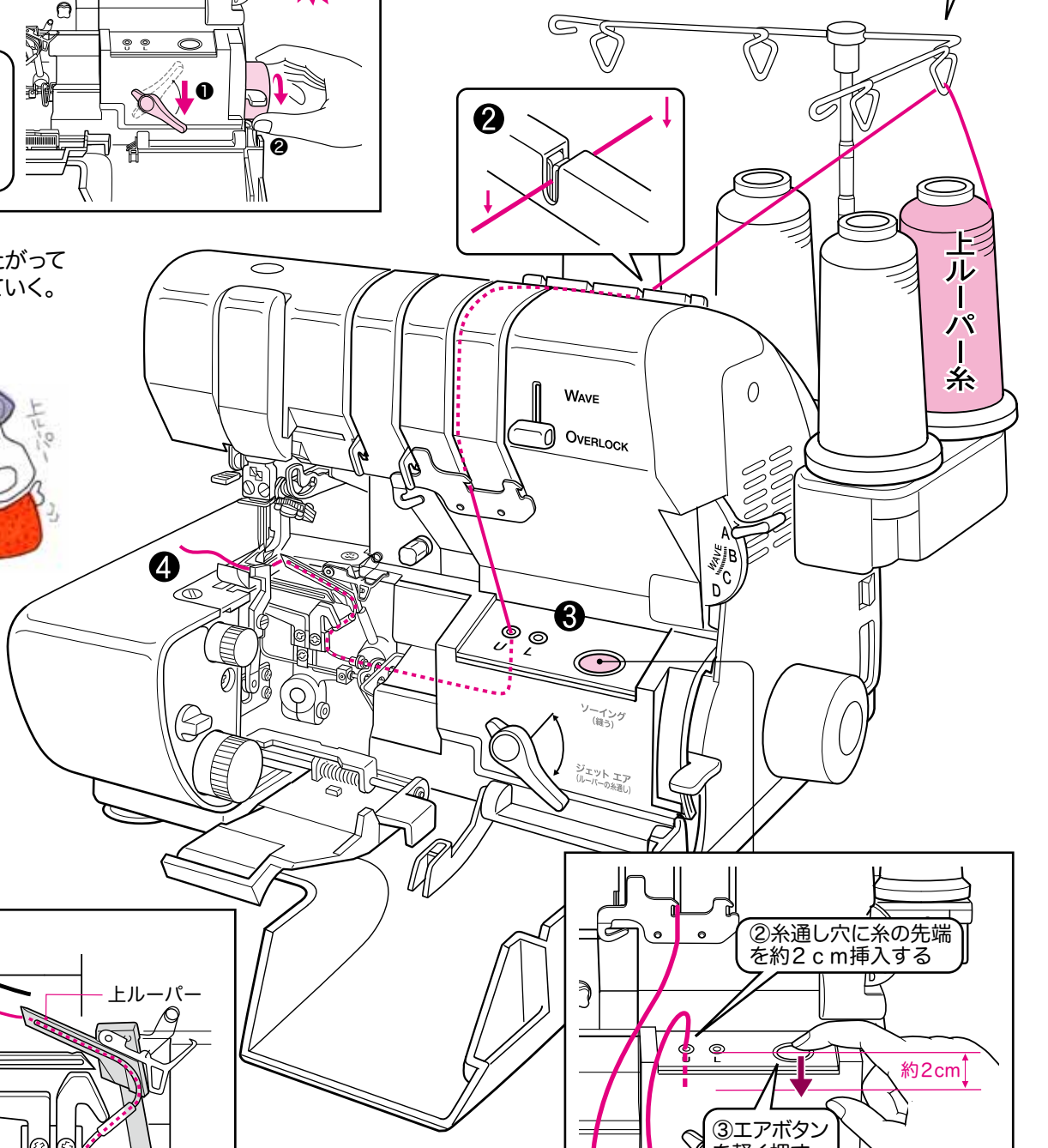
上ルーパー糸

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P19参照）

重要

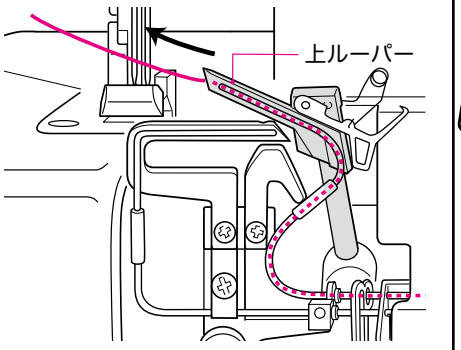


2 番号にしたがって糸をかけていく。

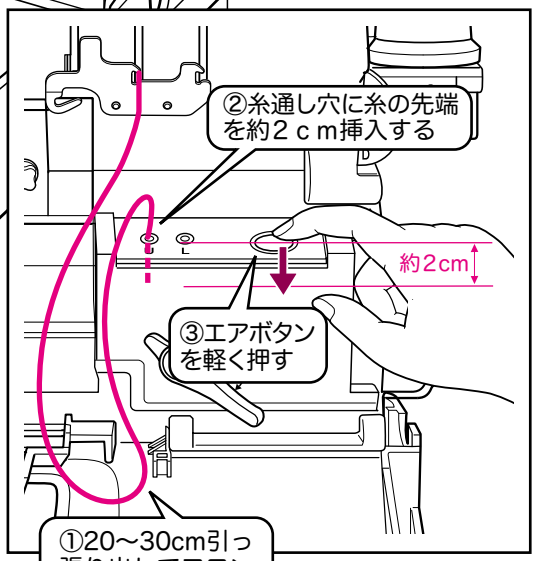


ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。



エアボタンを押すと「上ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。



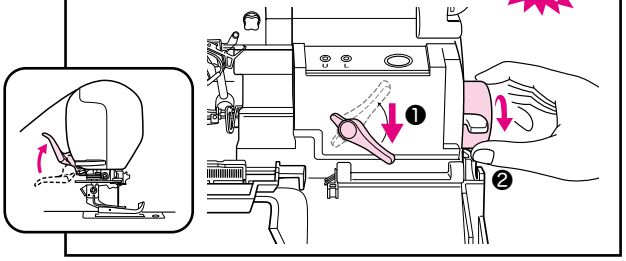
3 「固定の解除」（P19）をしてから縫い始める

重要

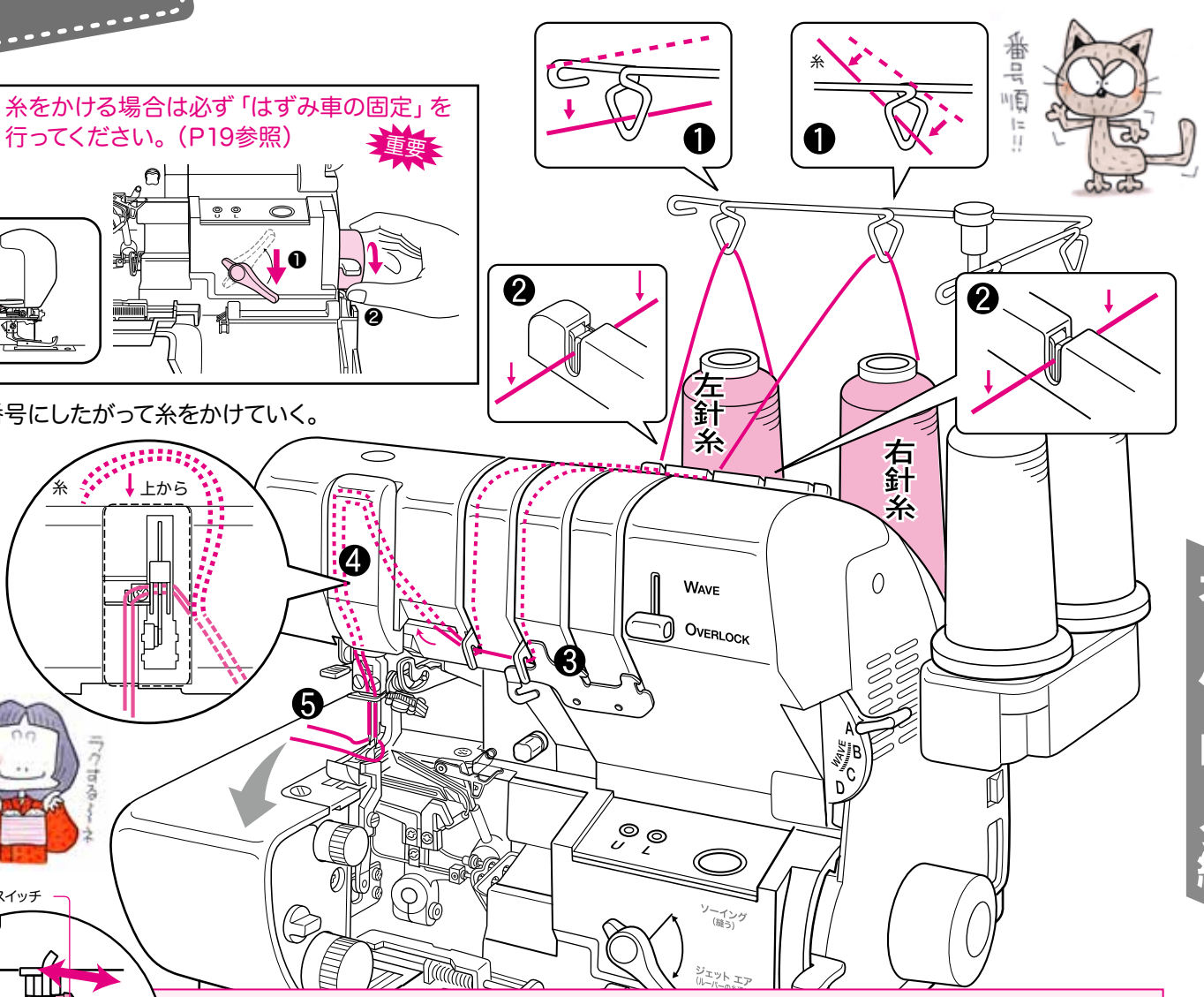
針糸

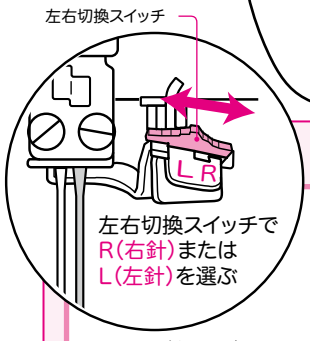
注意 ケガをする恐れがあります。 ◀ 針糸をかける場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P19参照） 重要



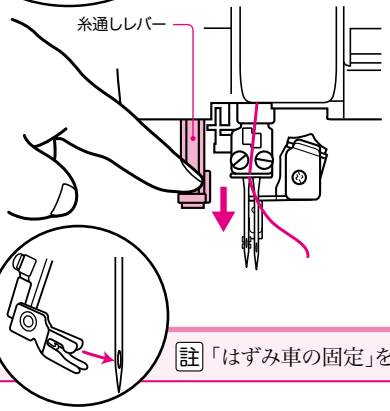
2 番号にしたがって糸をかけていく。



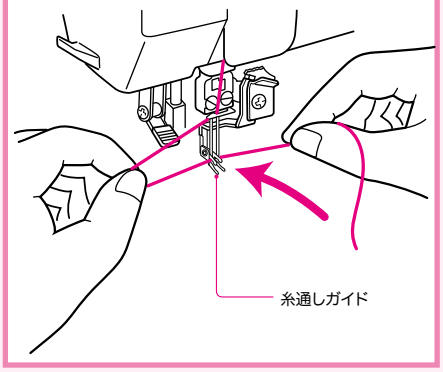


◆ラクスルー（自動針糸通し）の使い方◆

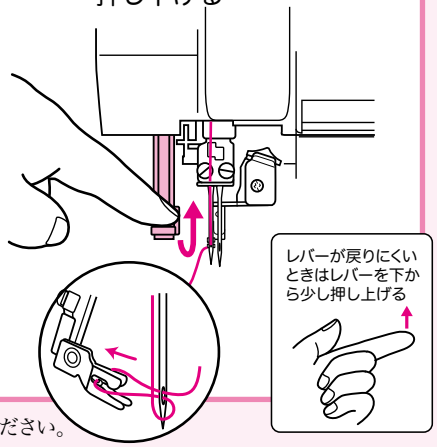
① 糸通しレバーを下げる



② 糸通しガイドに糸を差し込み、手を放す



③ 糸通しレバーをもう一度押し下げる



註「はずみ車の固定」をしていない状態では糸通しレバーを絶対に動かさないでください。

3 「固定の解除」（P19）をしてから縫い始める 重要

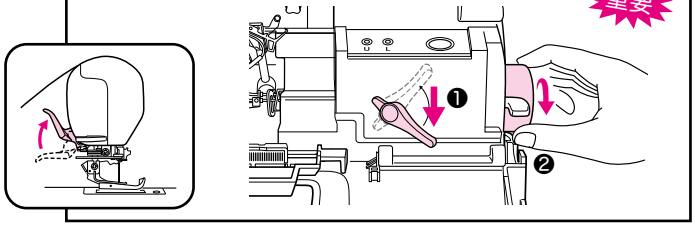
太い糸のかけ方

【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

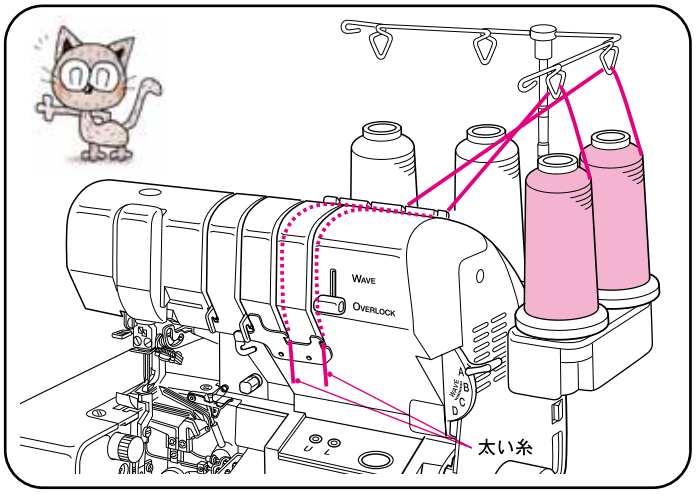
上・下ルーパー糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のようにして糸を通してください。

1 糸通しをする場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P19参照）

重要

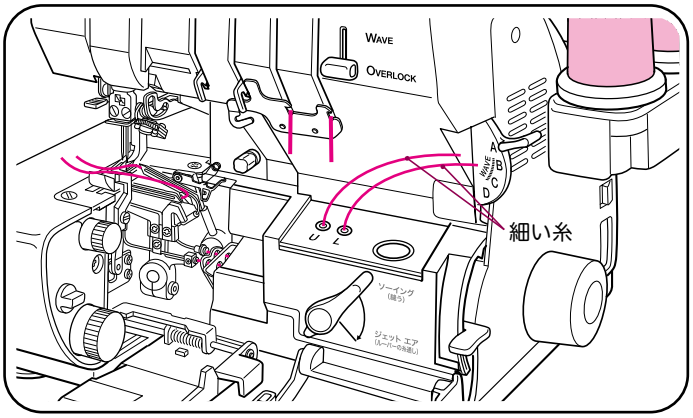


2 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。（P20、21参照）

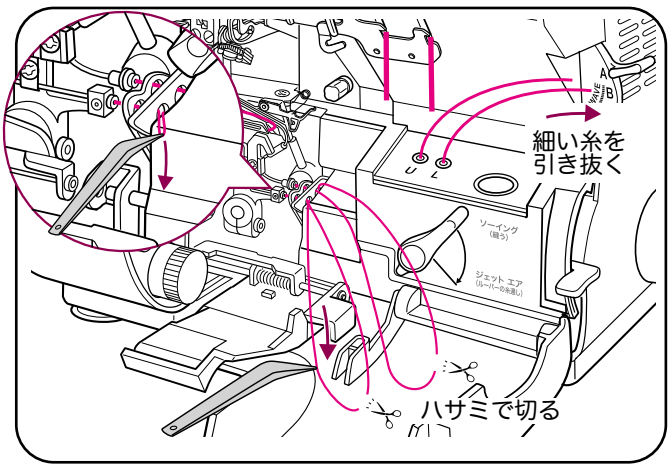


3 エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと（P20、21参照）、「固定の解除」を行う（P19参照）。

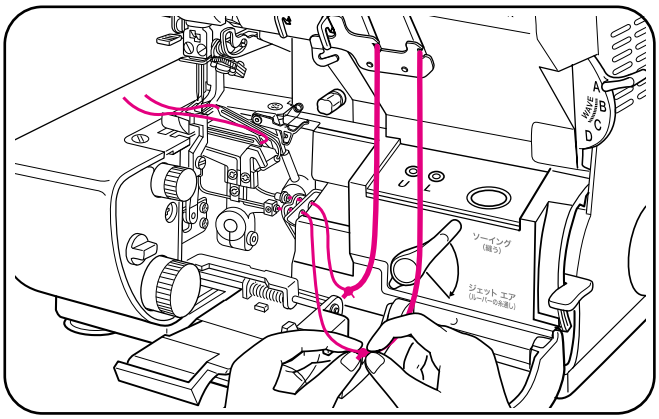
重要



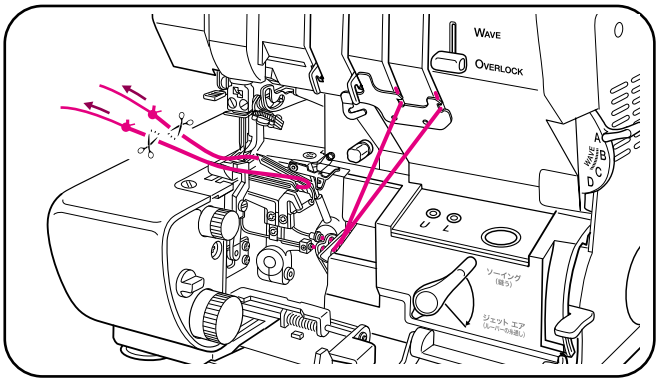
4 ピンセットで糸を引き出して切る。



5 太い糸と細い糸を結ぶ。



6 結び目を引き出して切る。



ウェ〜ブロック編

ウェ〜ブロック編

10 ウェ〜ブロックへの切換え ……25
ウェ〜ブロック／
巻きウェ〜ブロック

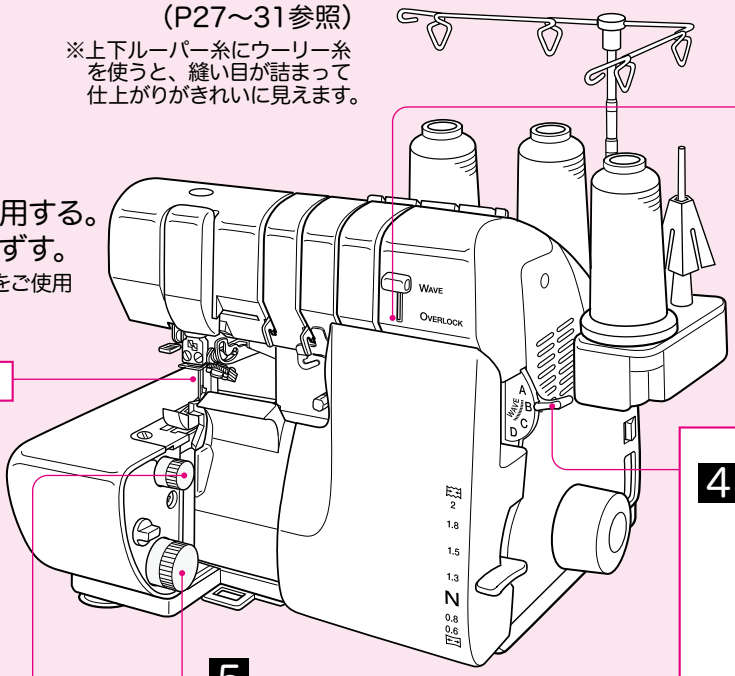
11 ウェ〜ブロックの糸かけ
糸かけ全体図 ……27
糸かけの前に／糸かけが終わったら ……28
下ルーパー糸 ……29
上ルーパー糸 ……30
針糸 ……31
太い糸のかけ方 ……32

10 ウェ～ブロックへの切換え

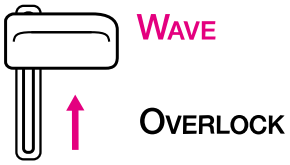
ウェ～ブロックは1本針3本糸ロックで縫います。
またウェ～ブロックでも巻きロックができます。
ウェ～ブの切換えは、「オーバー／ウェ～ブ切換ツマミ」をWAVEにし、縫い目切換ダイヤルを WAVE B：ウェ～ブロックか、WAVE C：巻きウェ～ブロックにします。また糸のかけ方もオーバーロックとは違いますのでご注意ください。その他、かがり幅や送り目の変更はオーバーロックと同じです。

2 糸をかける
(P27～31参照)
※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

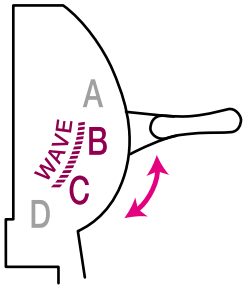
1
右針を使用する。
左針をはずす。
※針は#14をご使用ください。



3
オーバーロック／
ウェ～ブロック切換ツマミ
WAVEに合わせる

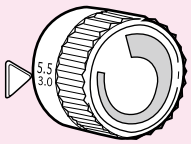


4 縫い目切換レバー

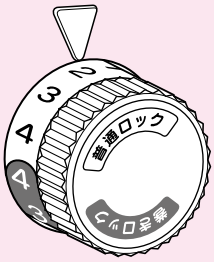


WAVE B：ウェ～ブロック
C：巻きウェ～ブロック

6 かがり幅ダイヤル



5 送り目ダイヤル



ウェーブロックの場合は、“一つの波”が25針で形成されているため、送り目を長くすればするほど、糸と糸との間が開いて見えます。

ワンポイント

縫い目がきれいにできない場合は溝の間にある２枚の糸調子皿から糸がはずれていることがあります。この２枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えていますが、ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。
押え上げレバーを上げ、この皿を開いてから、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで！

溝の間に2枚の
糸調子皿があるよ！

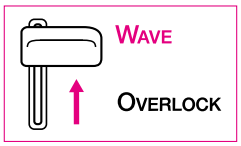
ウェ～ブロック

1 左針をはずして、右針だけの１本針にする。

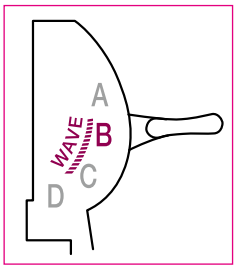
註 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

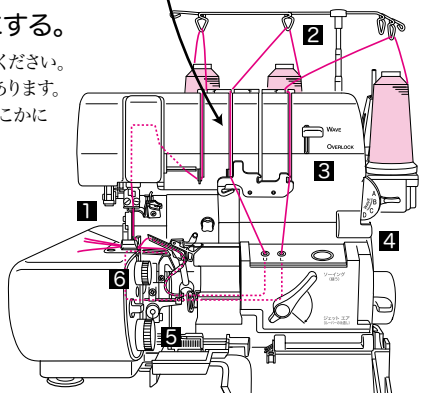
2 糸を３本かける（P27～31参照）。

3 「オーバー／ウェ～ブ切換ツマミ」をWAVEに合わせる。



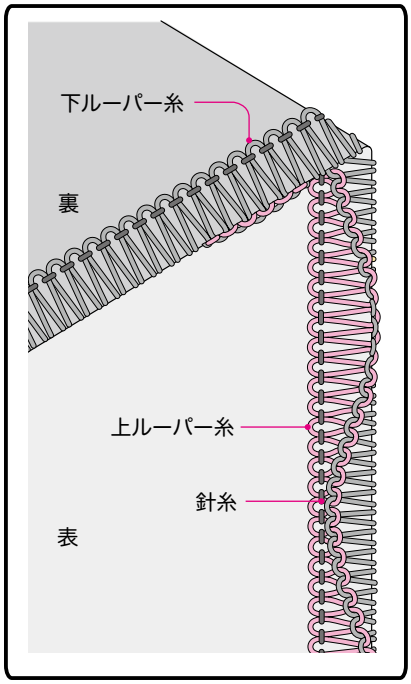
4 「縫い目切換ダイヤル」をBに合わせる。





5 「送り目ダイヤル」を【普通ロック】の数字0.75～4に合わせる。
（生地の種類や好みによって）

6 「かがり幅ダイヤル」を合わせる。
【下段の数字で合わせる】
（生地の種類や好みによって）



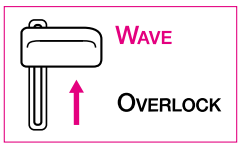
巻きウェ～ブロック

1 左針をはずして、右針だけの１本針にする。

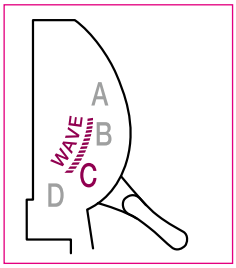
註 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

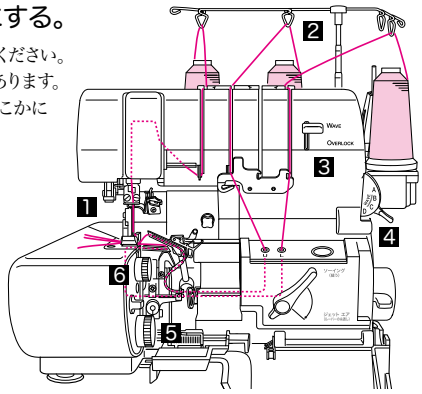
2 糸を３本かける（P27～31参照）。

3 「オーバー／ウェ～ブ切換ツマミ」をWAVEに合わせる。



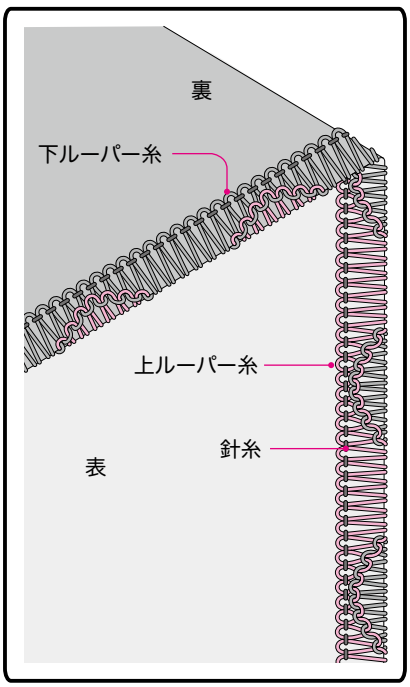
4 「縫い目切換ダイヤル」をCに合わせる。





5 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字0.75～4に合わせる。
（生地の種類や好みによって）

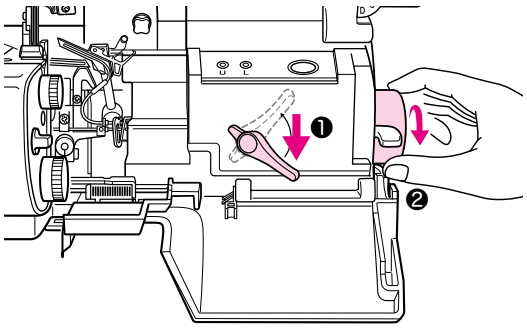
6 「かがり幅ダイヤル」をMに合わせる。
【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



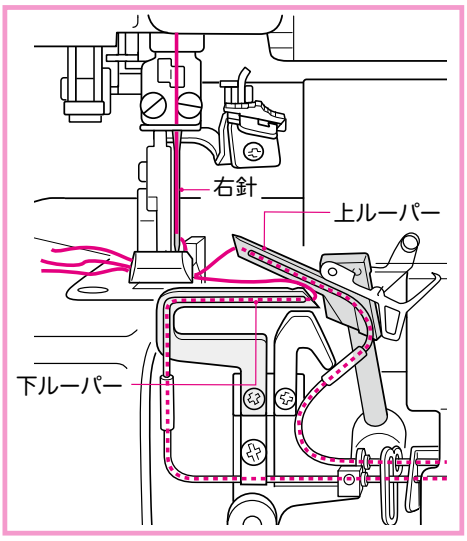
11 ウェ～ブロックの糸かけ

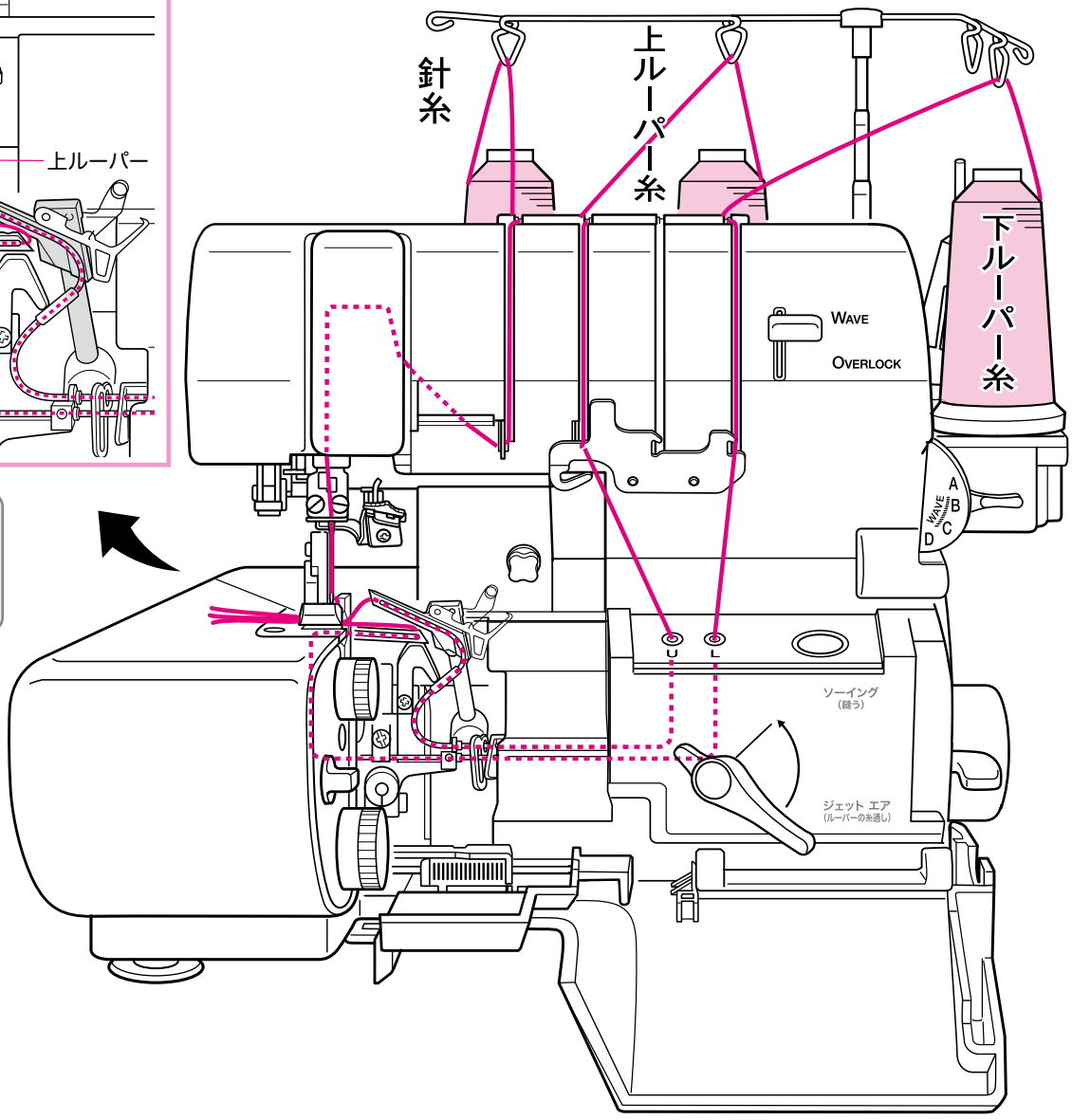
糸かけ全体図

糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P28参照）



ウェ～ブロックは１本針３本糸で縫います。左針をはずして、右針１本にしてください。
糸は、どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。





ワンポイント

上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

ウェ～ブロック編

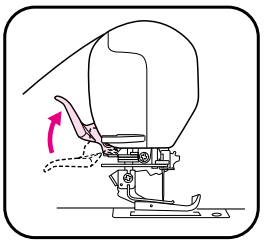
ルーパーの糸かけをするときはジェットエアスルー（ジェットエア糸通し）を使います。
ジェットエアスルーは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。
ラクスルー（自動針糸通し）を使うときも同様に「はずみ車の固定」を行ってください。

また、糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

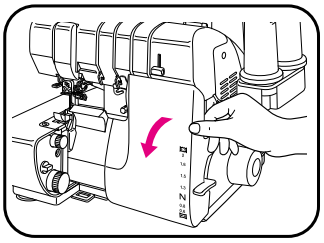
糸かけの前に

はずみ車の固定

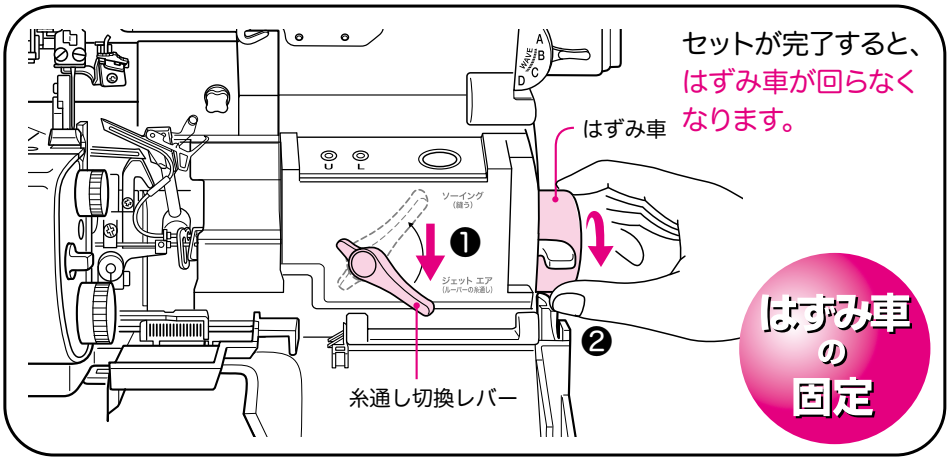
1 押え上げレバーで押え金を上げる。



2 フロントカバーとメスカバーを開ける。



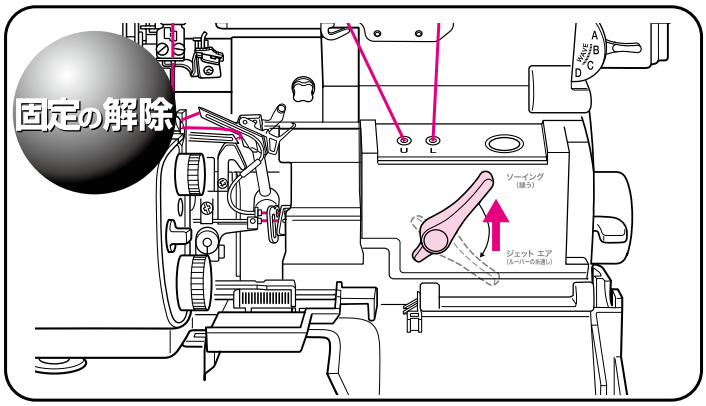
3 糸通し切換えレバーを「ジェットエア」側へ下げ、カチッと音がするまではずみ車を回す。



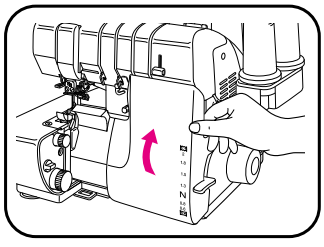
P29～P31にしたがって糸をかける

糸かけが終わったら

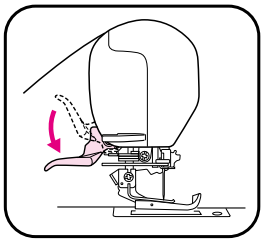
1 糸をかけ終わったら、必ず糸通し切換レバーを「ソーイング」側へ上げる。



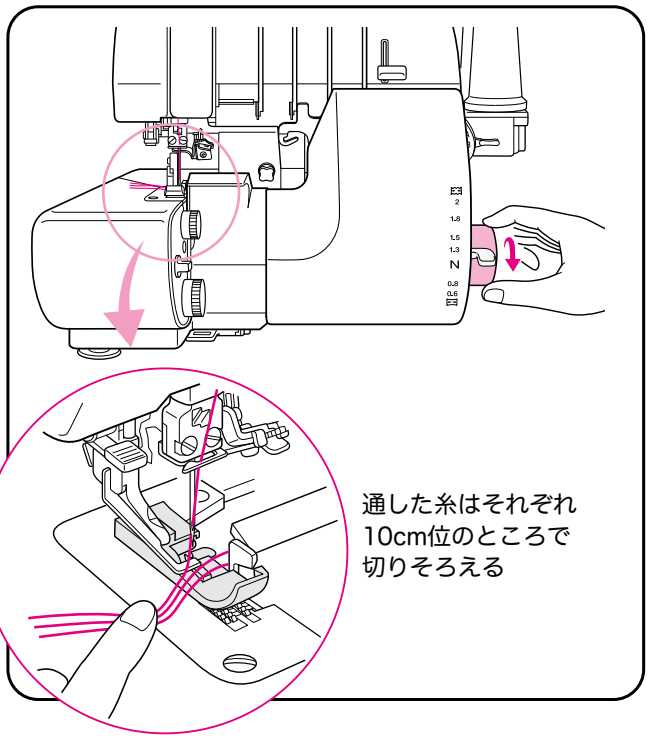
2 メスカバー、フロントカバーを閉める。



3 押え上げレバーで押え金を下げる。



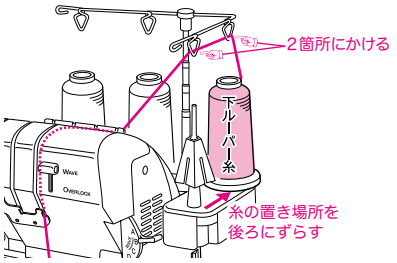
4 最後に3本の糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



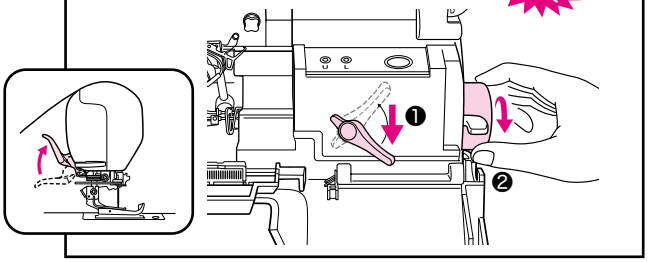
下ルーパー糸

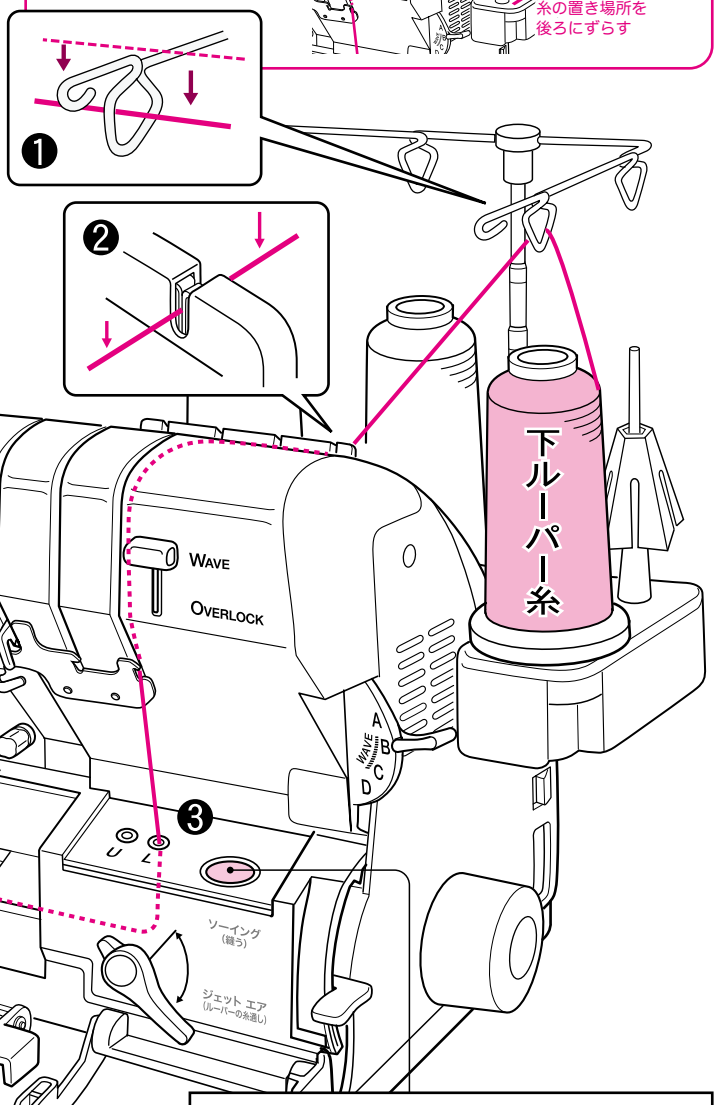
ワンポイント

糸ヌケの悪い糸やカラミ易い糸は、右図のように糸をかけるとスムーズに縫えます。



1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P28参照) 重要



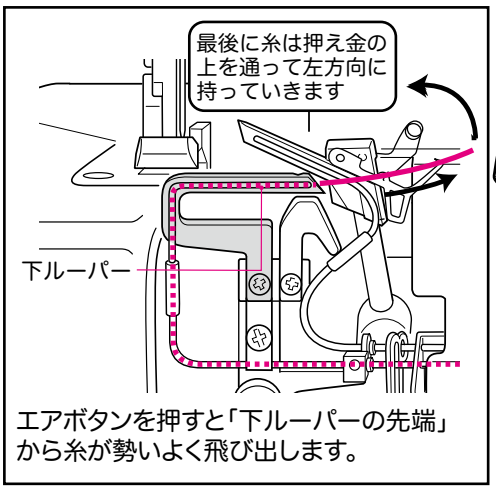


2 番号にしたがって糸をかけていく。

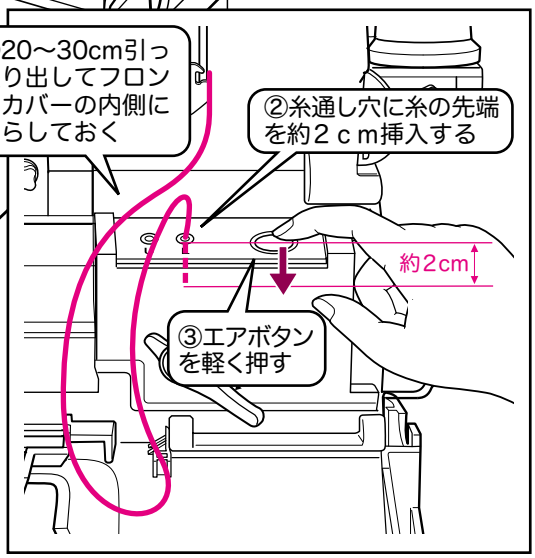
※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。

ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。



エアボタンを押すと「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。

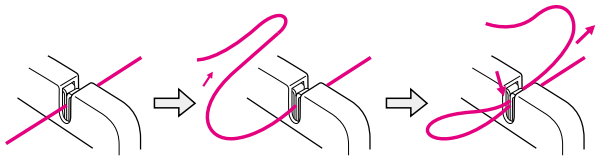


3 「固定の解除」(P28)をしてから縫い始める 重要

上ルーパー糸

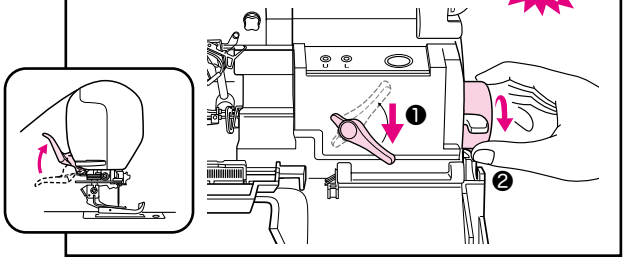
ワンポイント

●ワンタッチ（後部）糸案内からカンタンに糸をはずす方法



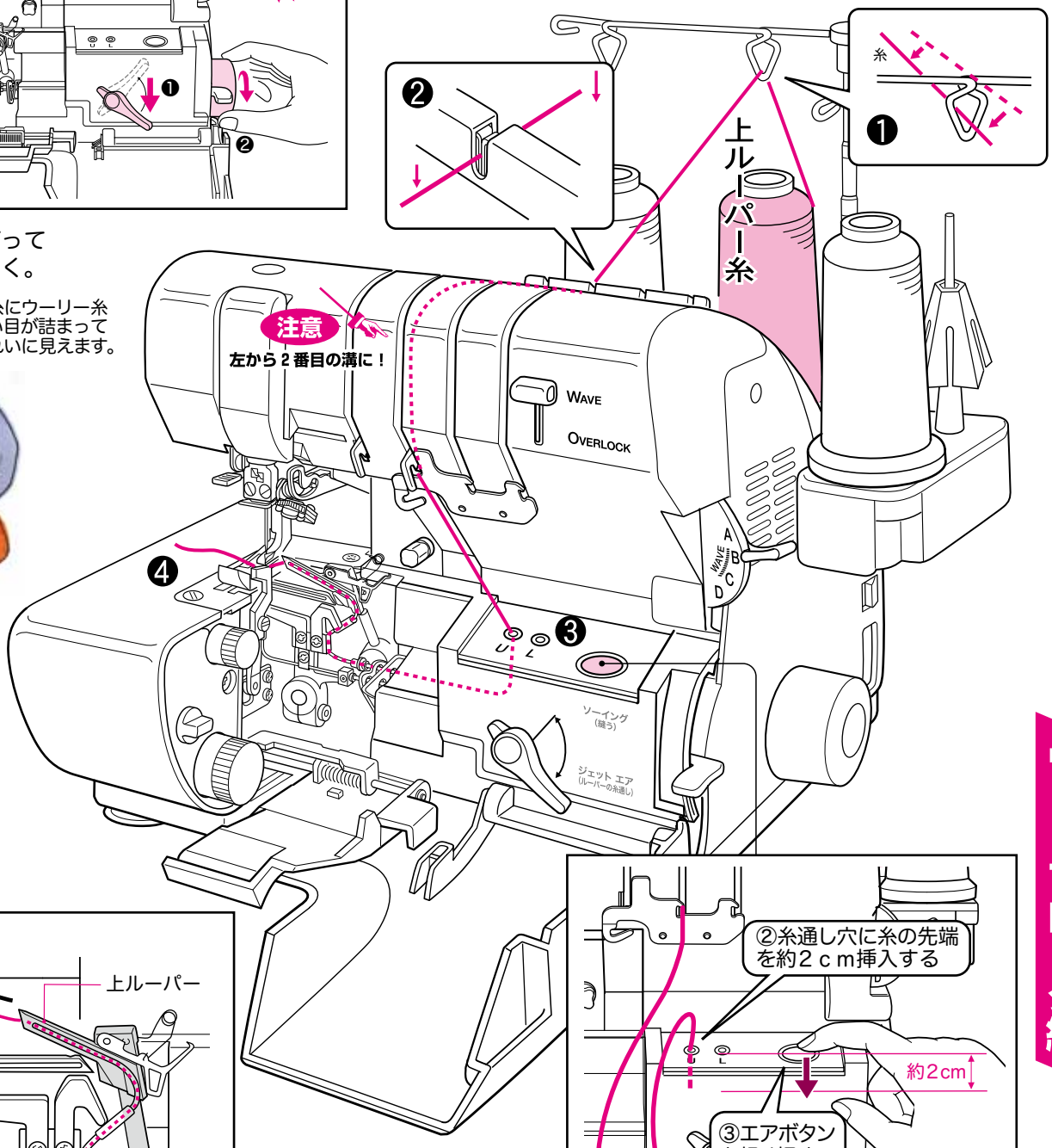
1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P28参照）

重要



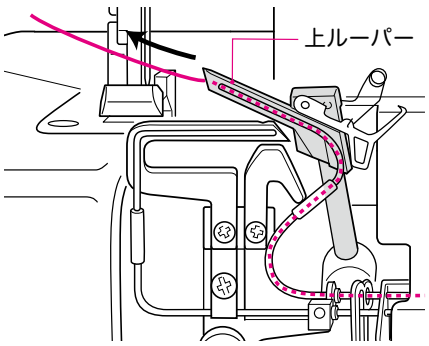
2 番号にしたがって糸をかけていく。

※上下ルーパー糸にウーリー糸を使うと、縫い目が詰まって仕上がりがきれいに見えます。



ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアボタンを押しても糸は通りません。



エアボタンを押すと「上ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。

3 「固定の解除」（P28）をしてから縫い始める

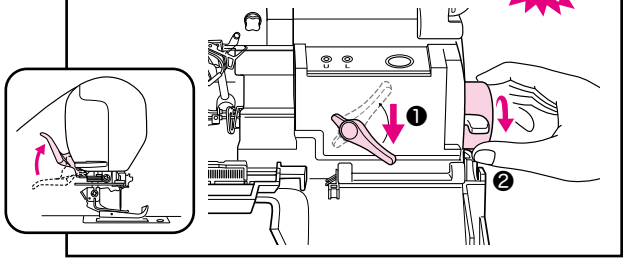
重要

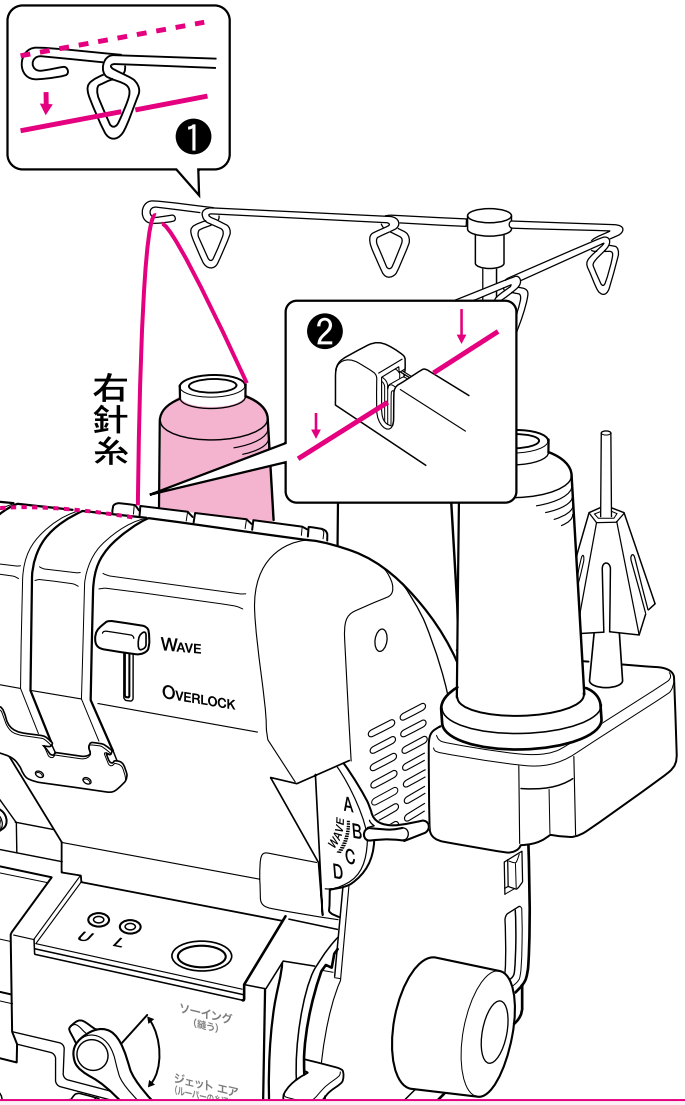
ウェ～ブロック編

針糸

注意 ケガをする恐れがあります。 ◀ 針糸をかける場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P28参照） 重要

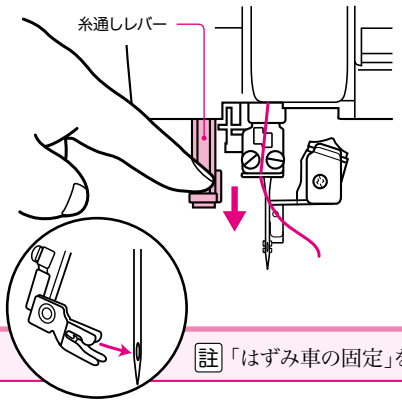




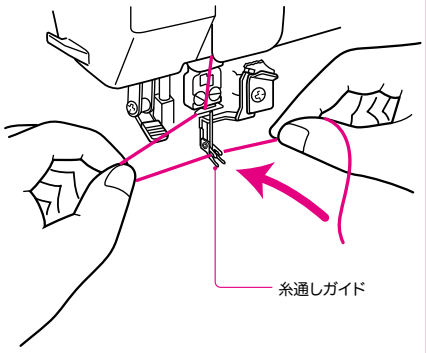
2 番号にしたがって糸をかけていく。

◆ラクスルー（自動針糸通し）の使い方◆

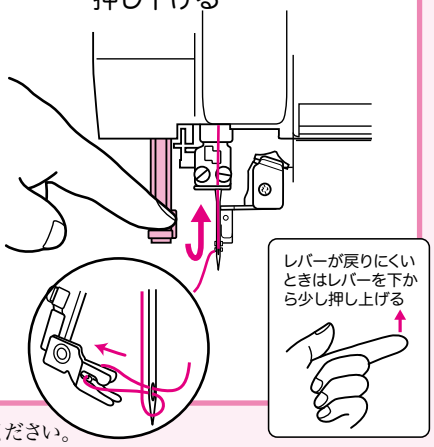
① 糸通しレバーを下げる



② 糸通しガイドに糸を差し込み、手を放す



③ 糸通しレバーをもう一度押し下げる



註「はずみ車の固定」をしていない状態では糸通しレバーを絶対に動かさないでください。

3 「固定の解除」（P28）をしてから縫い始める 重要

ウェ〜ブロック編

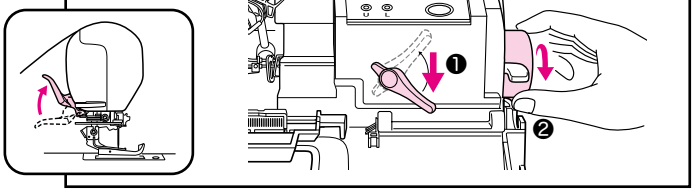
太い糸のかけ方

【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

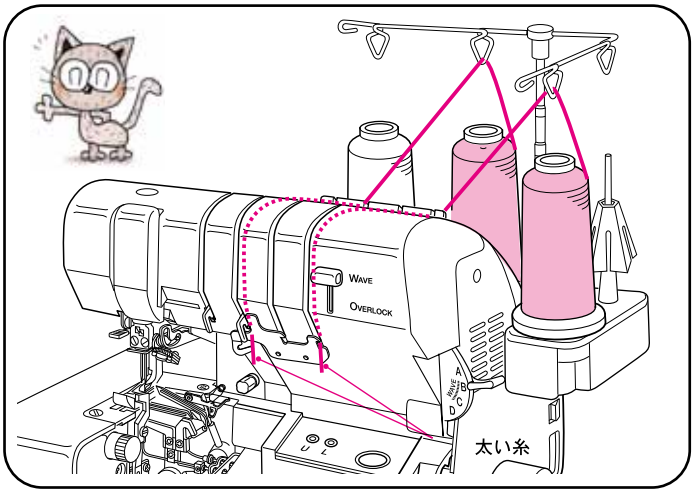
上・下ルーパー糸に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のようにして糸を通してください。

1 糸通しをする場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P19参照）

重要

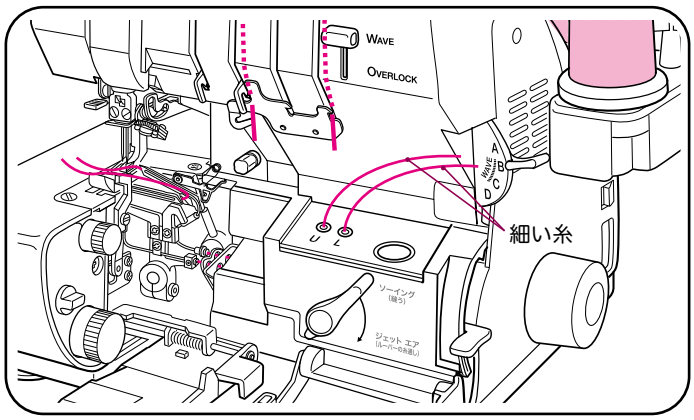


2 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。（P29、30参照）

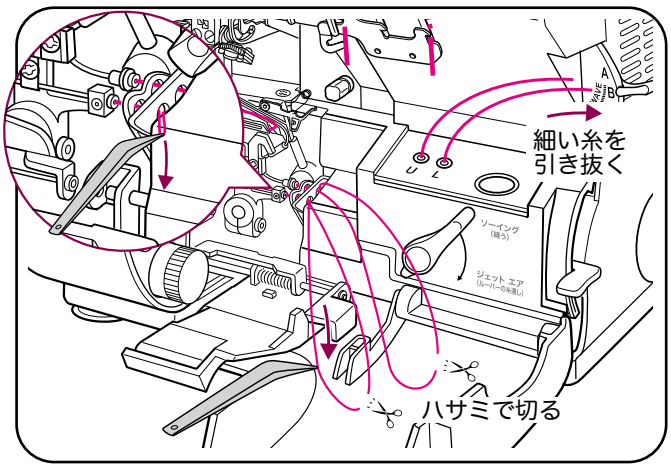


3 エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと（P29、30参照）、「固定の解除」を行う（P28参照）。

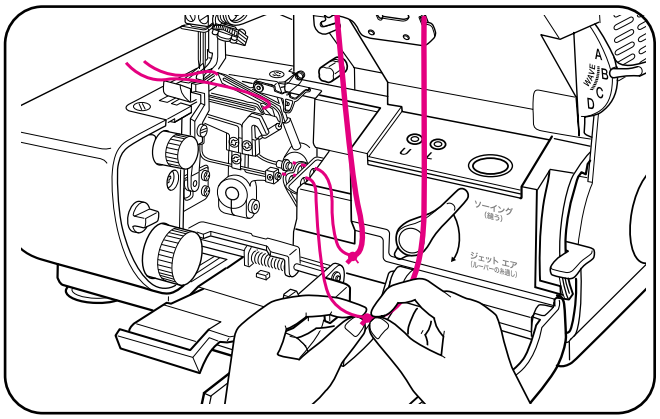
重要



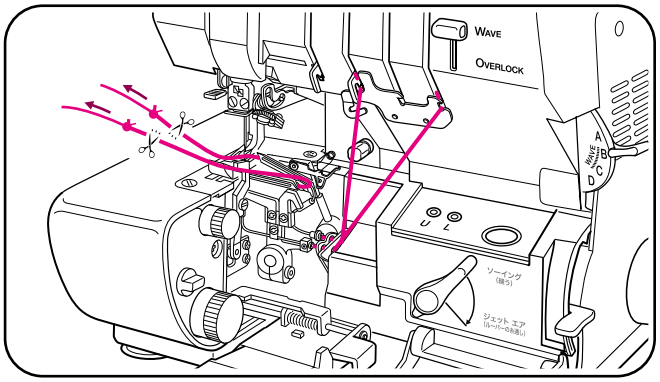
4 ピンセットで糸を引き出して切る。



5 太い糸と細い糸を結ぶ。



6 結び目を引き出して切る。



メンテナンス編

メンテナンス編

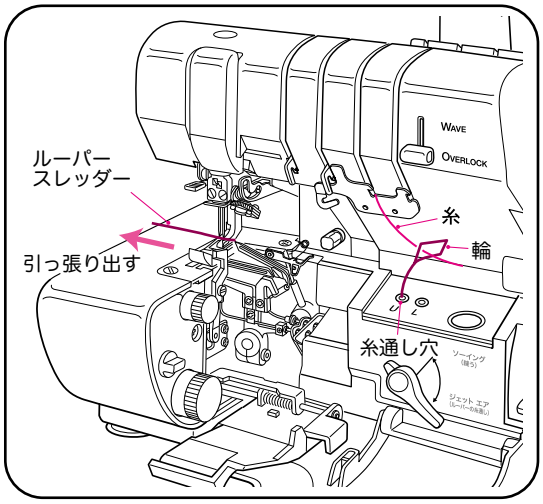
12 メンテナンス ---------- 34
ルーパースレッダーの使い方
／針の交換／メスの交換／掃除と注油について
13 修理を依頼される前に ---------- 36

仕　様 ／ MEMO

12 メンテナンス

ルーパースレッダーの使い方

エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として使用すると便利です。



❶ 掃除具として

まず「はずみ車」の固定（P19・28参照）をします。次に「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』（P3参照）を差し込み、ルーパーの先端から出てきたら引っ張り出します。この作業を数回繰り返すと、パイプにたまった糸クズが取れます。

❷ 糸通し具として

『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数ｃｍ入れ、❶と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパーの先端から引っ張り出します。

針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

このミシンの針は必ず **オルガンＨＡ×１ＳＰ** をご使用ください。

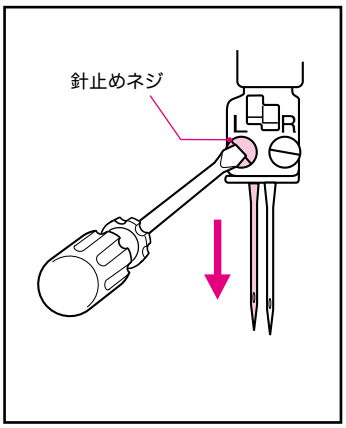
この針以外は使用できません。ただし、特に針どおりの悪い生地を縫う場合は「オルガンＨＡ×１」の針の使用をおすすめします。

推奨する針の太さ…薄地～中厚地：＃11　中厚地～厚地：＃14　※針は数字が大きくなるほど太くなります。

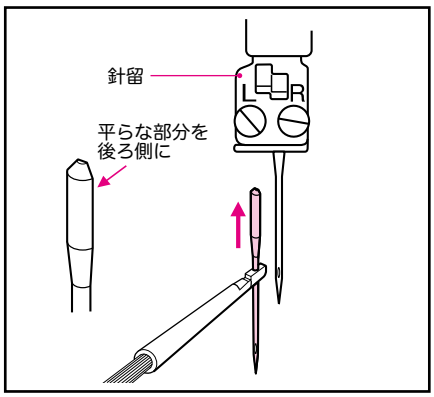
ウェ～ブロックで縫うときは針を＃14の太さにしてください。

1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げる。

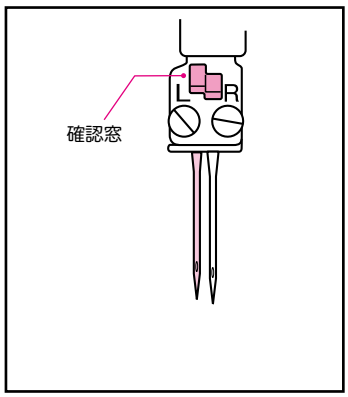
2 付属のドライバーで針止めネジをゆるめて、針をはずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。



4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。



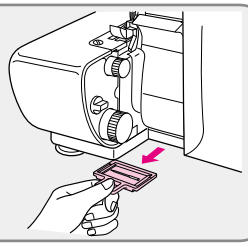
注意 ケガをする恐れがあります。

ルーパースレッダーを使用する場合や、針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

註 2本針から1本針にしたときは、針を取りはずした後、外した針の止めネジを必ずしめ直しておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。
また、使わない糸も取り除いて下さい。縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

ワンポイント

針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



メンテナンス編

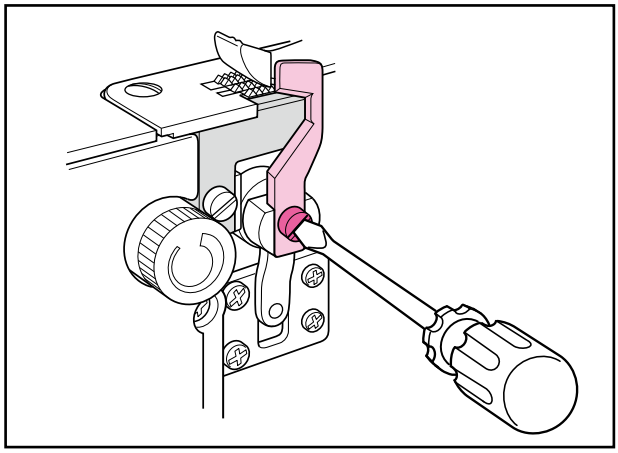
メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

1 フロントカバーとメスカバーを開く。

2 はずみ車を回して、上メスを最下点にする。

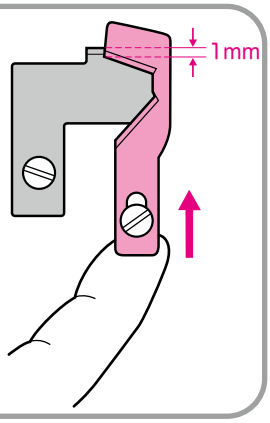
3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。



4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が１mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。

ワンポイント

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げた位置がだいたい１mm程度沈み込んだ位置になります。
このとき、「かがり幅ダイヤル」の目盛りを最小位置にしておくと取り付け作業が容易に行えます。



注意 ケガをする恐れがあります。

メスの交換をする場合は必ず電源を切ってください。
通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

掃除と注油について

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため切りクズがたまります。掃除機を使って埃を吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。

13 修理を依頼される前に

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状　況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	□電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	5
	□照明ライトスイッチが［ I ］になっていますか。	5
	□はずみ車の「固定の解除」がされていますか。	19・28
まったく縫えない！	□押え金が下がっていますか。	19・28
普通ロックがうまく縫えない！	□オーバー／ウェ～ブ切換ツマミが［OVERLOCK］になっていますか。	14・15
	□４本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが［A］になっていますか。	15
	□３本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが［B］になっていますか。	15
	□４本糸／３本糸ロックでは交換ルーパーが右側になっていますか。	17
	□２本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが［B］になっていますか。	17
	□２本糸ロックでは交換ルーパーが左側になっていますか。	17
	□送り目ダイヤルが［普通ロック］側の数字になっていますか。	15
	□糸調子皿から糸がはずれていませんか。	15
	□差動レバーの位置は適切ですか。	11
巻きロックがうまく縫えない！	□オーバー／ウェ～ブ切換ツマミが［OVERLOCK］になっていますか。	14・16
	□縫い目切換ダイヤルが［C］または［D］になっていますか。	16
	□送り目ダイヤルが［巻きロック］側の数字になっていますか。	16
	□かがり幅ダイヤルが［M］になっていますか。	16
	□差動レバーの位置は適切ですか。	11
ウェ～ブロックがうまく縫えない！	□１本針３本糸になっていますか？	25・26
	□オーバー／ウェ～ブ切換ツマミが［WAVE］になっていますか。	25・26
	□縫い目切換ダイヤルが［WAVE：B］ウェ～ブまたは［WAVE：C］ウェ～ブの巻きロックになっていますか。	25・26
	□送り目ダイヤルが［WAVE：B］のときは普通ロック側の数字、［WAVE：C］のときは巻きロック側になっていますか。	25・26
	□糸調子皿から糸がはずれていませんか。	26
目とび、糸切れがする！	□針は指定の［オルガンＨＡ×１ＳＰ］がついていますか。	34
	□針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。	34
	□曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。	34
	□糸かけが間違っていませんか。	18~23・27~32
	□糸がどこかに引っ掛かっていませんか。	18~23・27~32
	□古い糸を使用していませんか。	6
メスが布地を切らない！	□メス固定ツマミが［LOCK（固定）］になっていませんか。	10
	□上メスが磨耗していませんか。	35
エアボタンを押しても糸が通らない！	□「はずみ車の固定」がされていますか。	19・28
	□糸通し穴に糸が１～２cm挿入されていますか。	20~21・29~30
	□糸通し穴の手前で糸を20cmほどたるませていますか。	20~21・29~30
	□糸がどこかに引っ掛かっていませんか。	18~23・27~32
	□パイプの中にゴミがたまっていませんか。	34
ラクスルー（自動針糸通し）で糸が針穴に通らない！	□「はずみ車の固定」がされていますか。	19・28

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

仕様

TECHNICAL DATA

■仕　様

●縫　い　型　式	：	２本針４本糸オーバーロック １本針３本糸オーバーロック １本針２本糸オーバーロック １本針３本糸ウェ～ブロック
●か　が　り　幅	：	２本針４本糸ロック5.5～7.5mm １本針３本糸・2本糸ロック3.0～7.5mm 巻きロック1.5mm
●縫い目（送り目）	：	0.75～４mm
●差　動　比　率 （伸ばし・縮みの比率）	：	0.6～2.0
●メ ス 上 下 量	：	6.5mm
●押え上がり量	：	5mm
●送 り 歯 高 さ	：	0.7mm
●縫　い　速　度	：	毎分1,500針
●使　　用　　針	：	オルガンＨＡ×１ＳＰ（＃11，＃14）
●使 用 糸 本 数	：	４本、３本、2本
●消　費　電　力	：	105W
●照 明 ラ イ ト	：	LED×3
●ミシンの大きさ	：	奥行280mm 幅365mm 高さ303mm
●ミシンの重さ	：	8.9kg

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

MEMO

糸取物語

wave

Jet Air
motor drive system

baby lock ベビーロックの最新情報や作品づくりのアイディアは
ホームページとfacebookをチェック！

ホームページ ベビーロック 検索 www.babylock.co.jp
〈ベビーロックの使い方〉www.babylock.co.jp/works/babylock
スマホからは

Facebookページ facebook.com/babylockjapan

株式会社ジューキ
※baby lockは株式会社ジューキの登録商標です。

本社／〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

支店／東　京 03(5825)9020　名古屋 052(917)3671　大　阪 06(6768)3651
広　島 082(227)5781　福　岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ
お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日
販売店名	
	TEL

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要が起る場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお薦めします。

(BL69WJ) 052014 ⑬ TL